

# 観光事業者向け調査の結果 【全体版】

# 目次

## 1. アンケート調査

アンケート調査の概要	4
(1) 宿泊業	5
(2) 飲食店	16
(3) 菓子製造業	25
(4) 小売店	30
(5) 県内/県外から調達する理由の比較	36

## 2. ヒアリング調査

ヒアリング調査の概要	38
(1) 宿泊業	39
(2) 飲食店	41
(3) 菓子製造業	42
(4) 小売店	43
(5) 泡盛製造業	45
(6) 陶器製造業	46
(7) 琉球ガラス製造業	48
(8) 染織物製造業	49

## 3. 参考資料

アンケート調査票	52
----------	----

# 1. アンケート調査

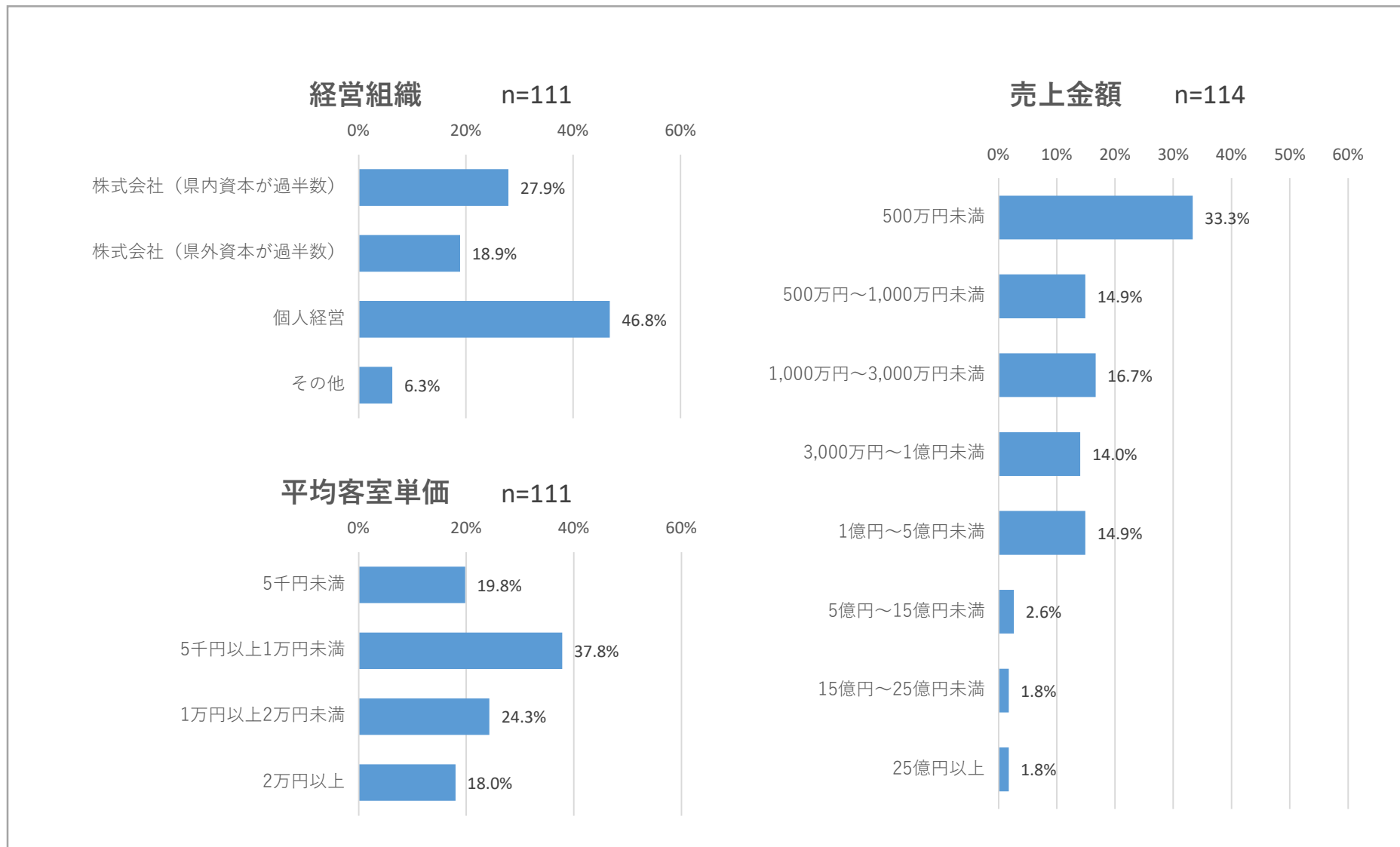
## アンケート調査の概要

調査目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内調達の状況把握、県内調達に関する意見の収集</li> </ul>																				
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>郵送配布・郵送またはインターネット経由での回収</li> </ul>																				
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄県内に事業所のある(1)宿泊業、(2)飲食業、(3)菓子製造業、(4)小売業</li> </ul>																				
調査期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>2023年10月13日(金)～10月27日(金)</li> <li>※小売業・菓子製造業は、未回答者に督促を行い11月17日(金)まで締切を延長</li> </ul>																				
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営組織</li> <li>売上金額</li> <li>平均客室単価、観光割合</li> <li>費用総額に占める割合と県内調達率</li> <li>品目別の県内調達率と調達理由</li> <li>その他意見</li> </ul>																				
配布・回収数	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(1)宿泊業</th> <th>(2)飲食業</th> <th>(3)菓子製造業 (土産品)</th> <th>(4)小売業 (土産品店)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配布数</td> <td>1,286</td> <td>733</td> <td>65</td> <td>77</td> </tr> <tr> <td>有効回収数</td> <td>114</td> <td>76</td> <td>34</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>有効回収率</td> <td>8.9%</td> <td>10.4%</td> <td>52.3%</td> <td>45.5%</td> </tr> </tbody> </table>		(1)宿泊業	(2)飲食業	(3)菓子製造業 (土産品)	(4)小売業 (土産品店)	配布数	1,286	733	65	77	有効回収数	114	76	34	35	有効回収率	8.9%	10.4%	52.3%	45.5%
	(1)宿泊業	(2)飲食業	(3)菓子製造業 (土産品)	(4)小売業 (土産品店)																	
配布数	1,286	733	65	77																	
有効回収数	114	76	34	35																	
有効回収率	8.9%	10.4%	52.3%	45.5%																	
集計方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 経営組織・売上金額・平均客室単価：回答数の構成比を算出</li> <li>② 費用総額に占める割合と県内調達率：回答値の単純平均を算出</li> <li>③ 品目別の県内調達率と調達理由：回答値の単純平均を算出</li> </ul>																				

# (1) 宿泊業

## (1) 宿泊業

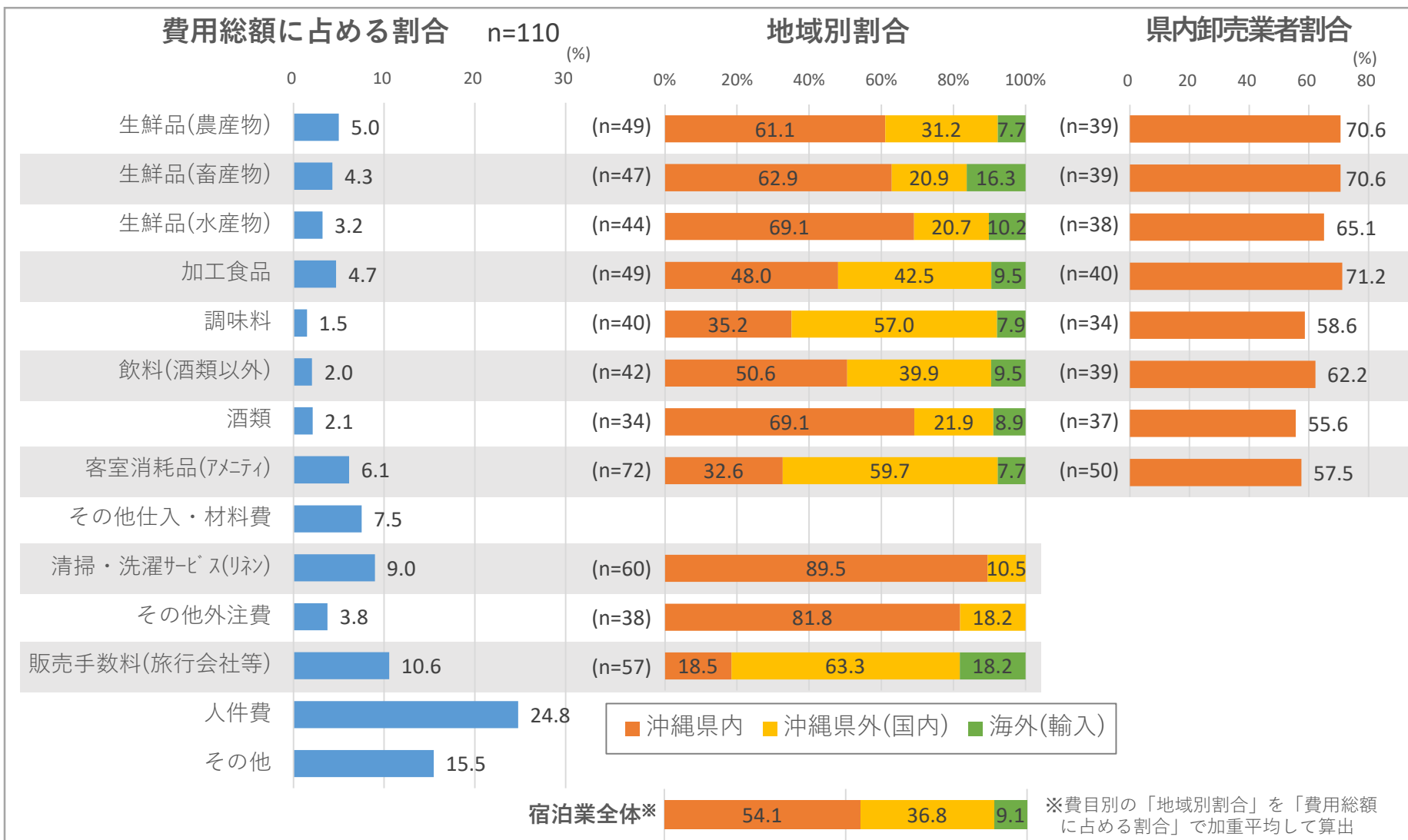
### ① 経営組織・売上金額・平均客室単価



## (1) 宿泊業

## ② 費用総額に占める割合と県内調達率

- 費用総額に占める割合が大きい費目は、生鮮品(合わせて約13%)、販売手数料(約11%)、リネン(9%)、アメニティ(約6%)の順。
- このうち、県内調達率が比較的低い費目は客室消耗品(約33%)、販売手数料(約19%)。

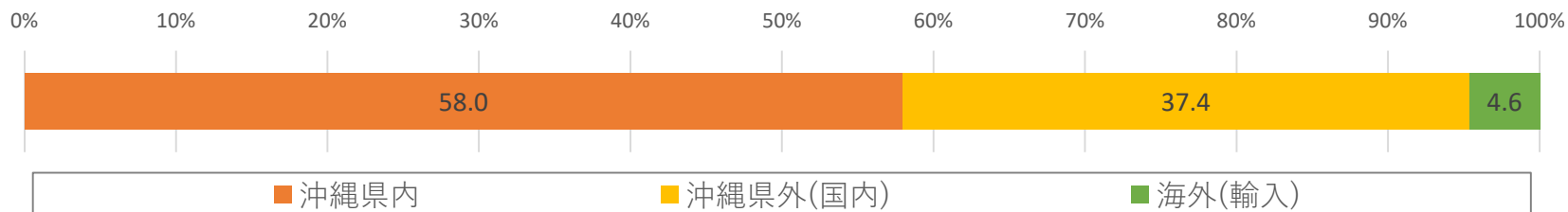


### ③ 品目別の県内調達率と調達理由

- 野菜の県内調達率は58%。県内調達の理由は「県内に調達先があるから」、県外調達の理由は「価格が安いから」「県内で必要な量を調達できないから」が多い。

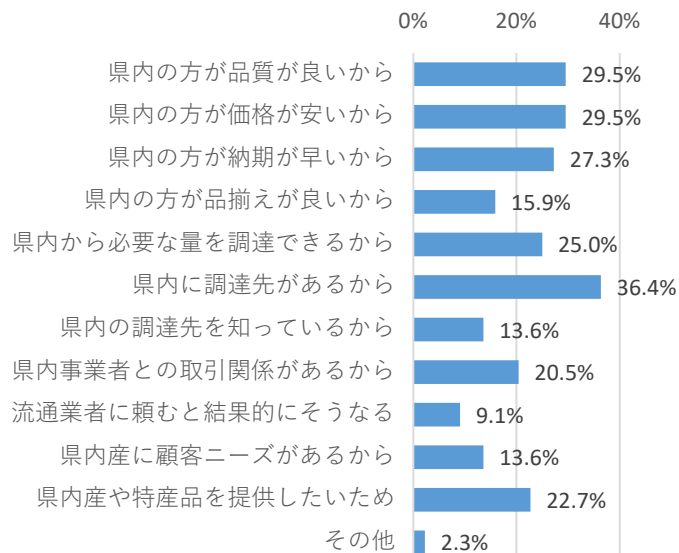
#### < 野菜 >

地域別割合 n=51



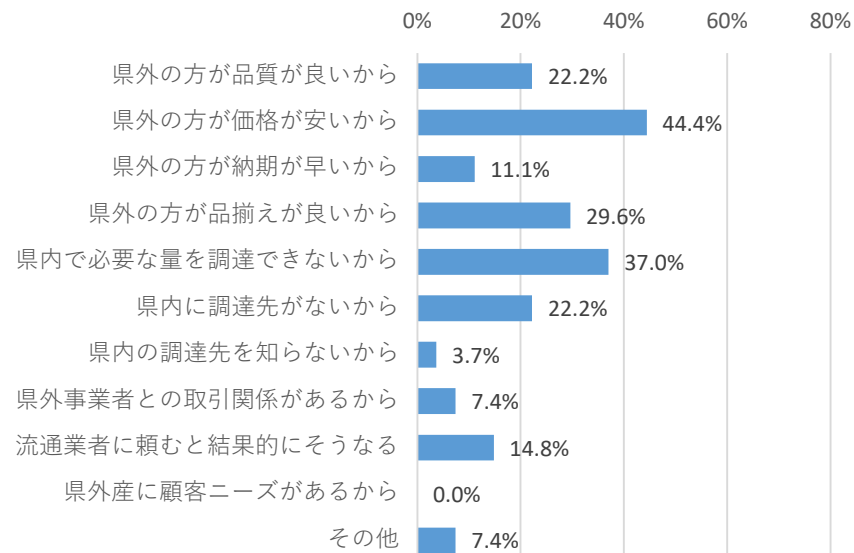
県内から調達する理由 n=44

n=44



県外から調達する理由 n=27

n=27

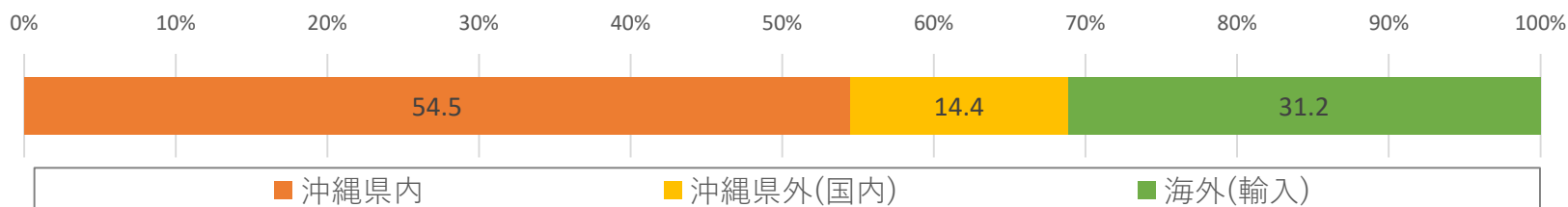


### ③ 品目別の県内調達率と調達理由

- 肉の県内調達率は約55%。県内調達の理由は「品質が良いから」、県外調達の理由は「価格が安いから」が多い。

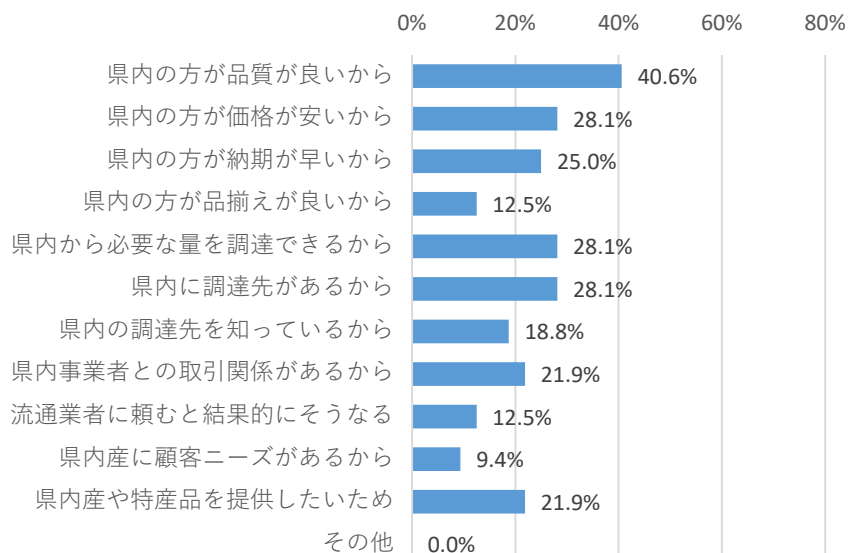
#### <肉>

#### 地域別割合 n=39



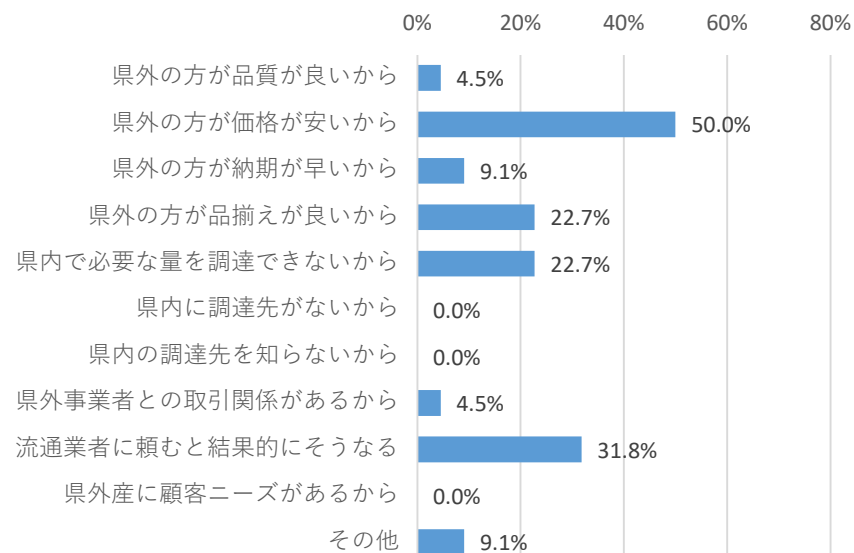
#### 県内から調達する理由 n=32

n=32



#### 県外から調達する理由 n=22

n=22



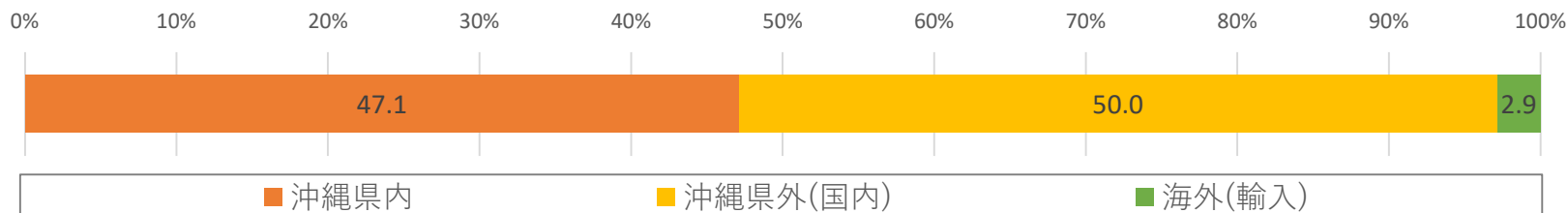


### ③ 品目別の県内調達率と調達理由

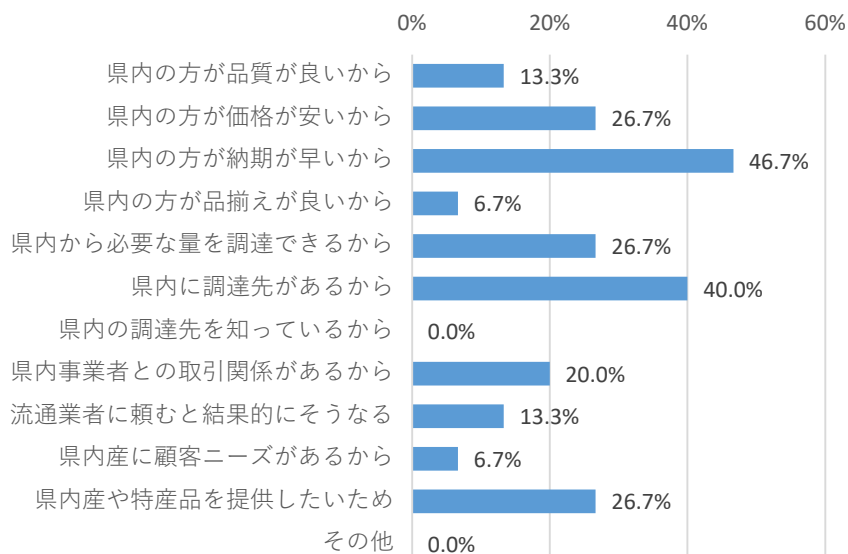
- 米の県内調達率は約47%。県内調達の理由は「納期が早いから」「県内に調達先があるから」、県外調達の理由は「品質が良いから」「価格が安いから」が多い。

#### <米>

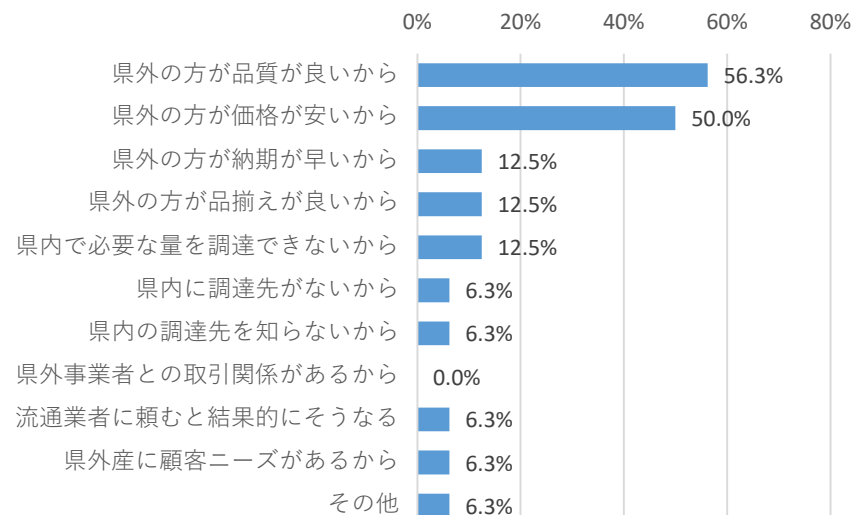
地域別割合 n=28



県内から調達する理由 n=15



県外から調達する理由 n=16

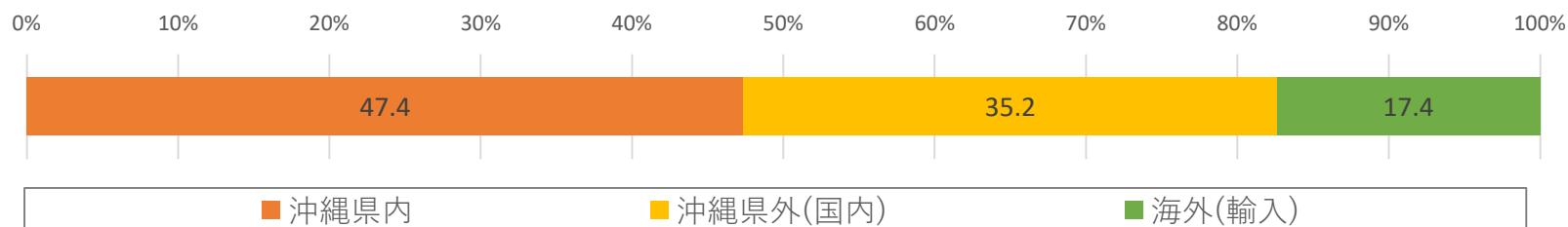


### ③ 品目別の県内調達率と調達理由

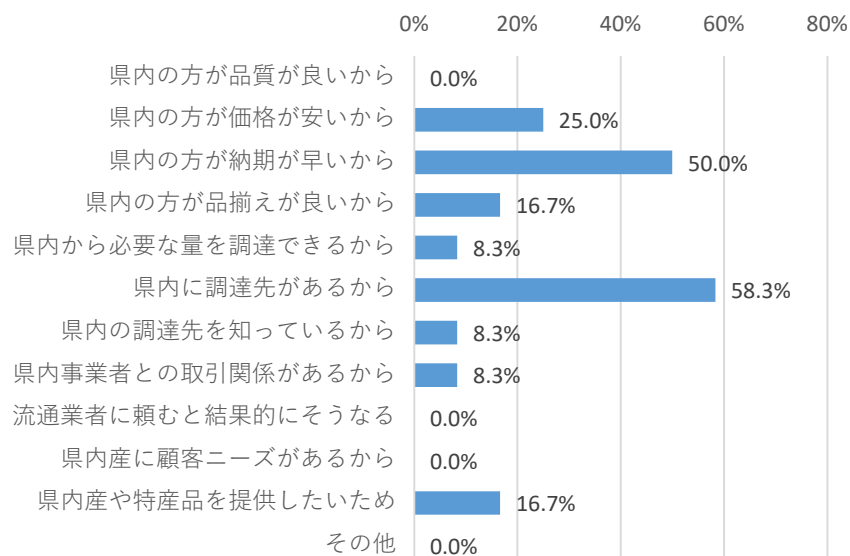
- 飲料の県内調達率は約47%。県内調達の理由は「県内に調達先があるから」「納期が早いから」、県外調達の理由は「県内の調達先を知らないから」が多い。

#### < 飲料 >

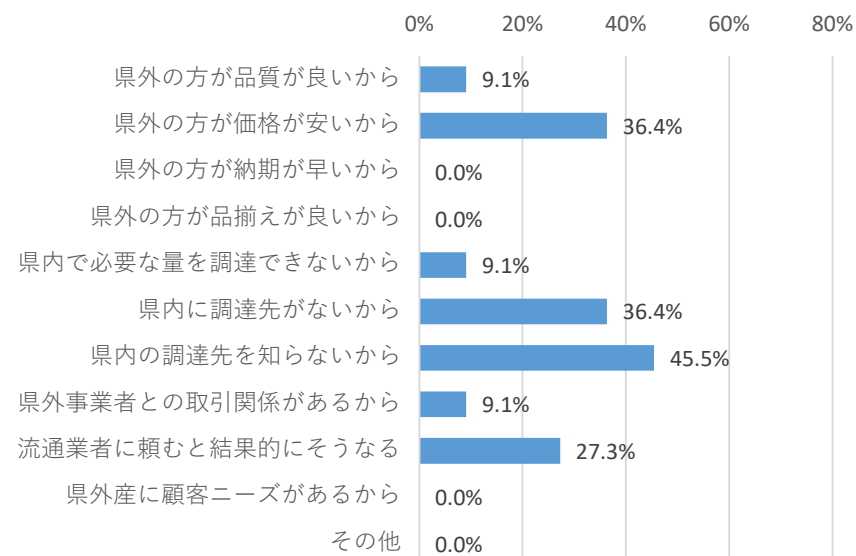
地域別割合 n=21



県内から調達する理由 n=12



県外から調達する理由 n=11

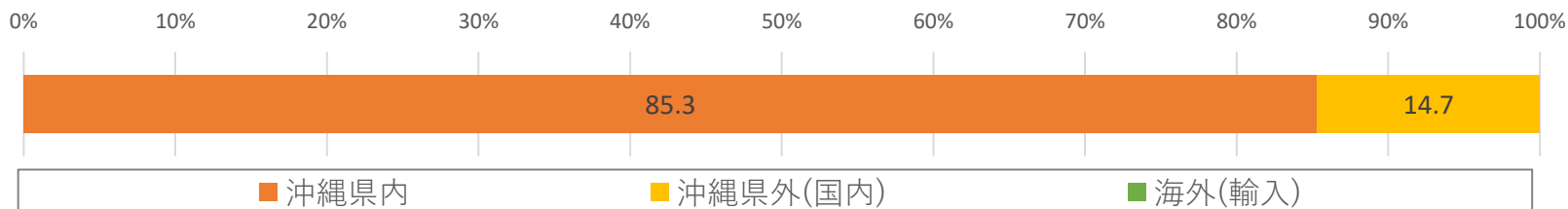


### ③ 品目別の県内調達率と調達理由

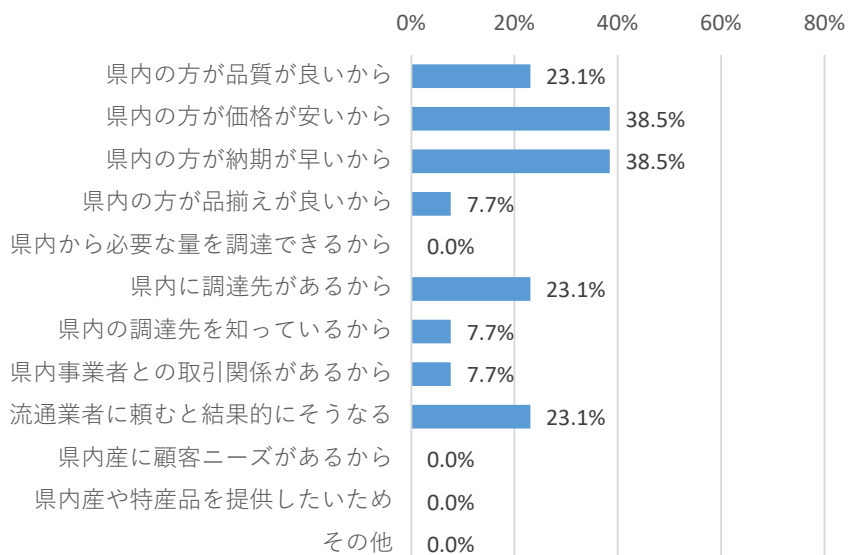
- 卵の県内調達率は約85%。県内調達の理由は「価格が安いから」「納期が早いから」、県外調達の理由は「流通業者に頼むと結果的にそうなる」が多い。

#### <卵>

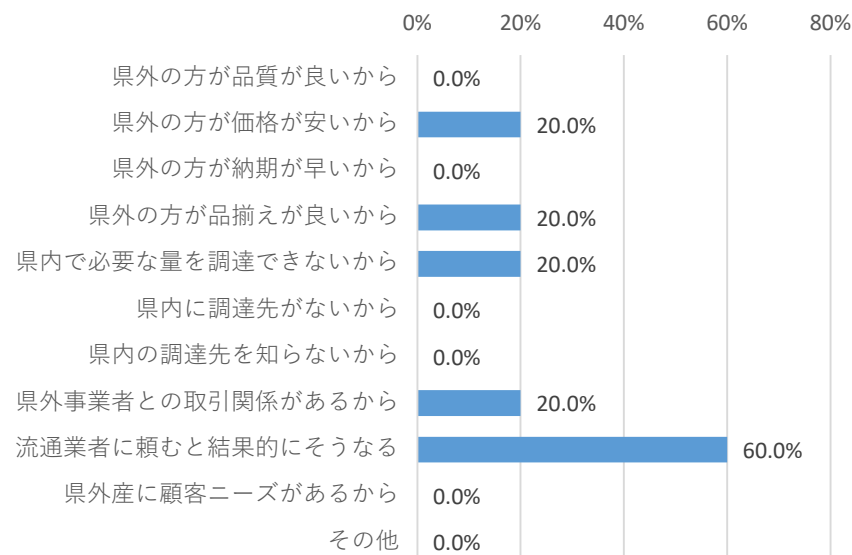
地域別割合 n=15



県内から調達する理由 n=13



県外から調達する理由 n=5

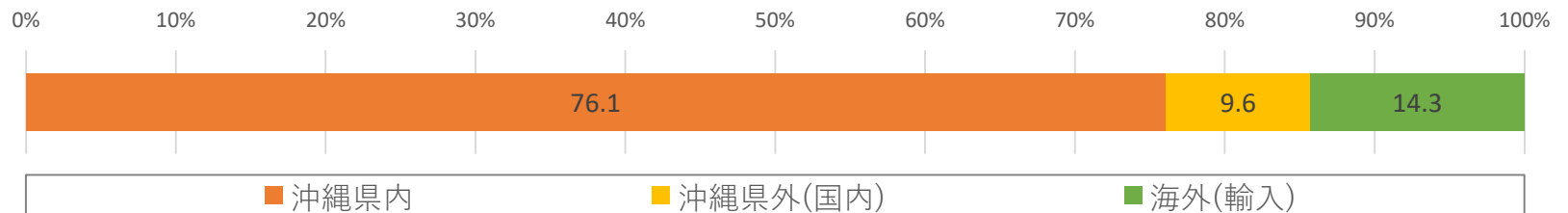


### ③ 品目別の県内調達率と調達理由

- 酒・アルコール類の県内調達率は約76%。県内調達の理由は「納期が早いから」「県内から必要な量を調達できるから」、県外調達の理由は「県内の調達先がないから」が多い。

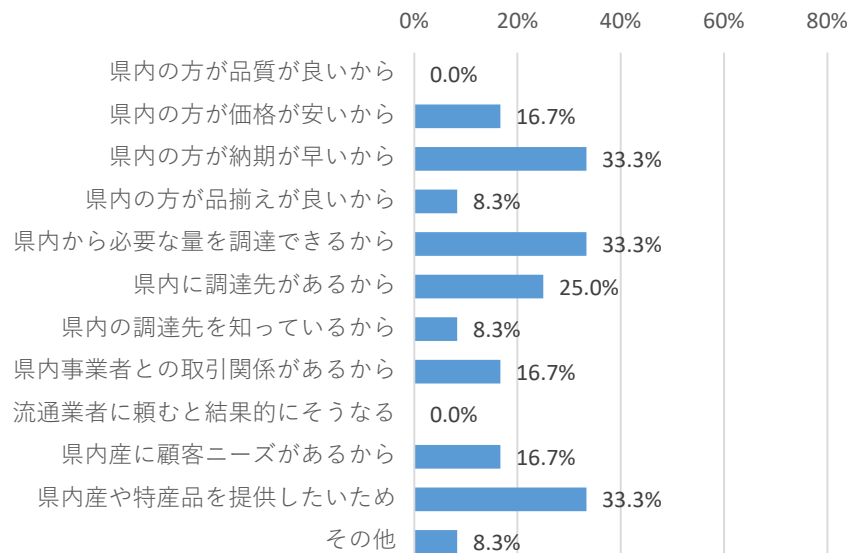
#### <酒・アルコール類>

#### 地域別割合 n=14



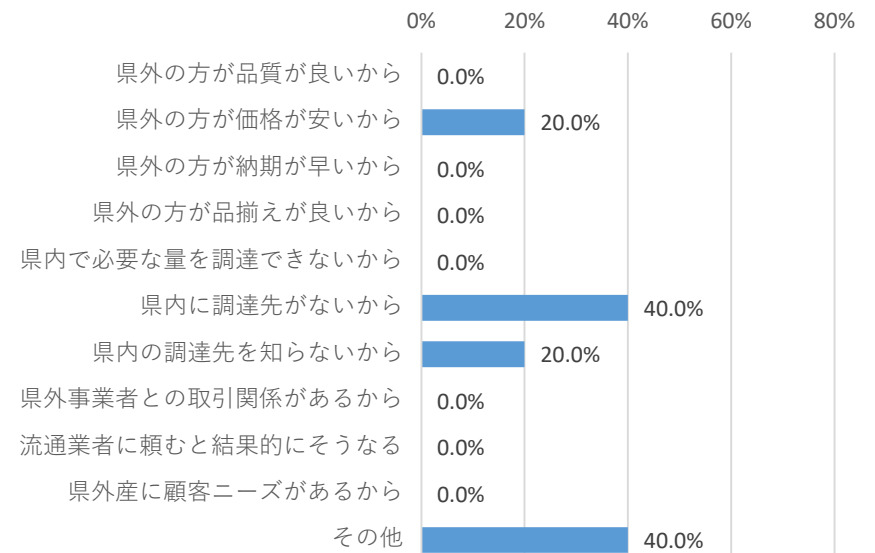
#### 県内から調達する理由 n=12

n=12



#### 県外から調達する理由 n=5

n=5

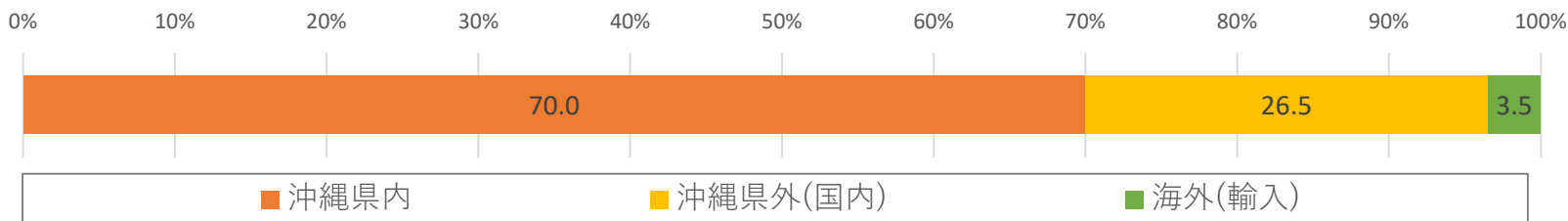


### ③ 品目別の県内調達率と調達理由

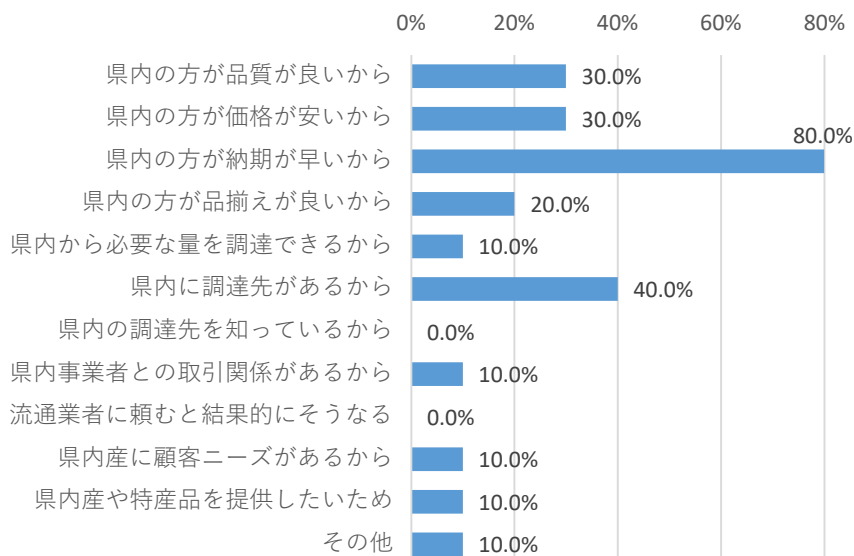
- パン・めんの県内調達率は70%。県内調達の理由は「納期が早いから」「県内に調達先があるから」、県外調達の理由は「品揃えが良いから」「県内で必要な量を調達できないから」が多い。

#### <パン・めん>

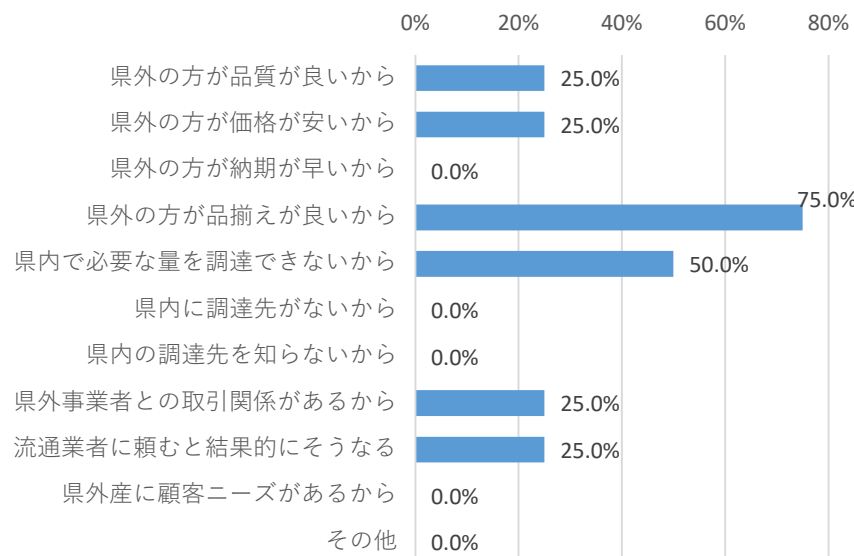
地域別割合 n=13



県内から調達する理由 n=10



県外から調達する理由 n=4

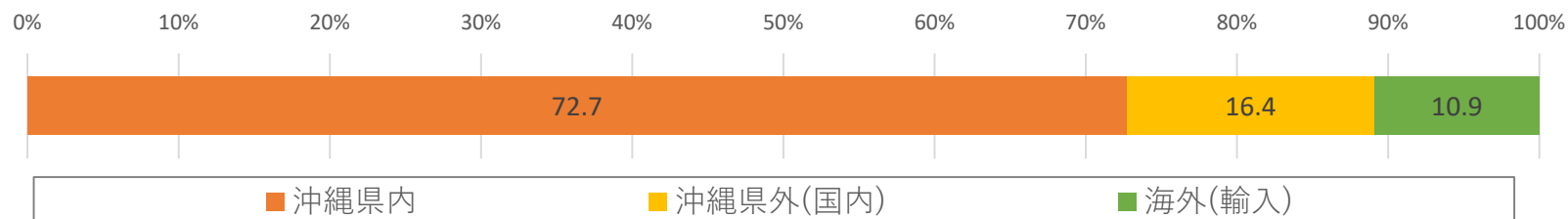


### ③ 品目別の県内調達率と調達理由

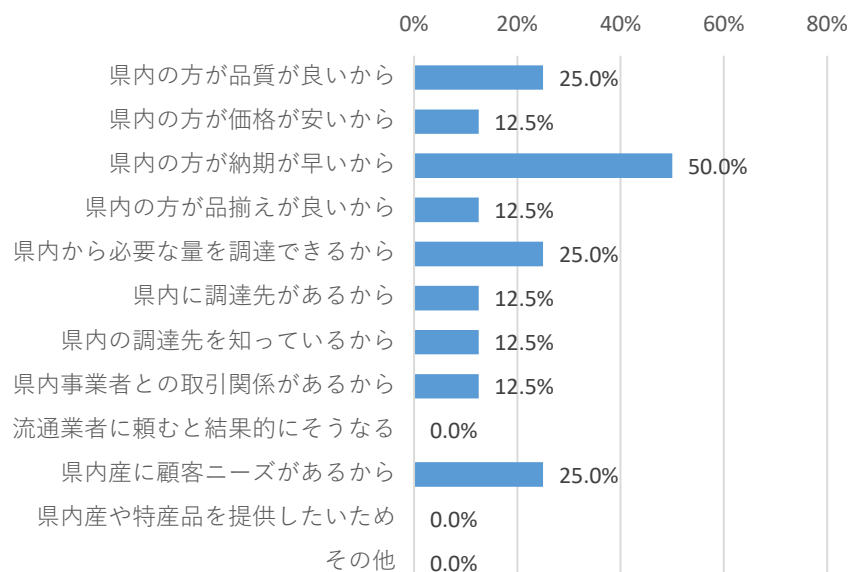
- 肉の県内調達率は約73%。県内調達の理由は「納期が早いから」、県外調達の理由は「流通業者に頼むと結果的にそうなる」が多い。

#### < 魚 >

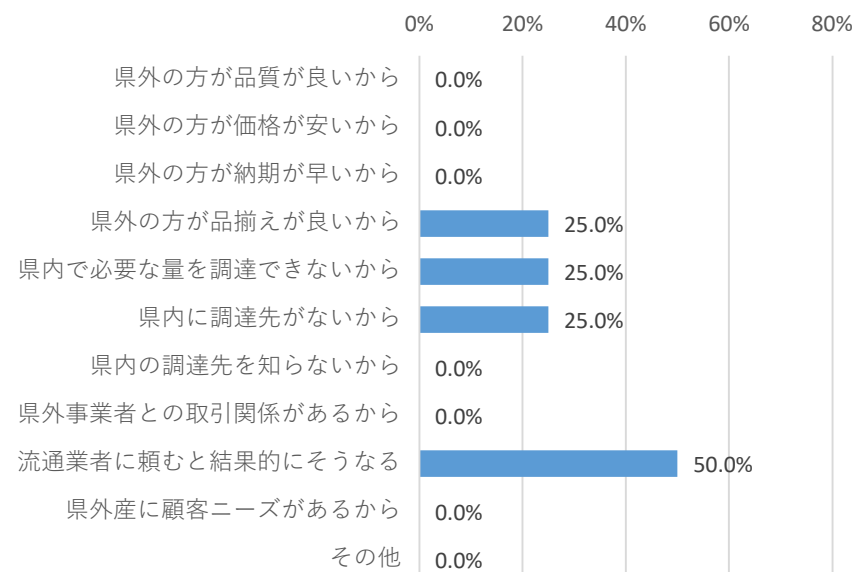
#### 地域別割合 n=11



#### 県内から調達する理由 n=8



#### 県外から調達する理由 n=4



## ④ ご意見等（抜粋）

### 【県内調達を増やせる可能性のあるもの】

- 化学調味料や添加物を使用しない県内産の調味料や加工品が流通したら利用したい。
- やんばるの山菜がお客様に大好評。

### 【県内調達を増やすうえでの課題】

- 地元の直売所を利用して地産地消に努めているが、季節により商品に偏りがあるため苦労している。
- 安定的な県産品の調達。特に野菜。
- 県内の卸売業者に注文すると、産地の指定などが出来ない。
- 複数の店をまわらなければ、県内産品の調達ができない。
- 県内産は品質が良いが流通ルートにのってない場合が多く、直接買い物に行くしかない。
- 県内産を買うために自らスーパーや市場へ行く事もある。
- 特産品の周知。安定した生産力。生産者との直接取引。
- 県内の作物はブランド化して単価が上がっており購入できない。

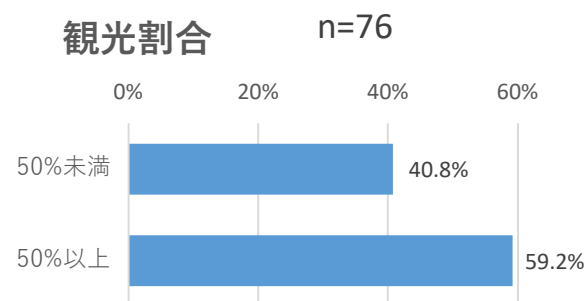
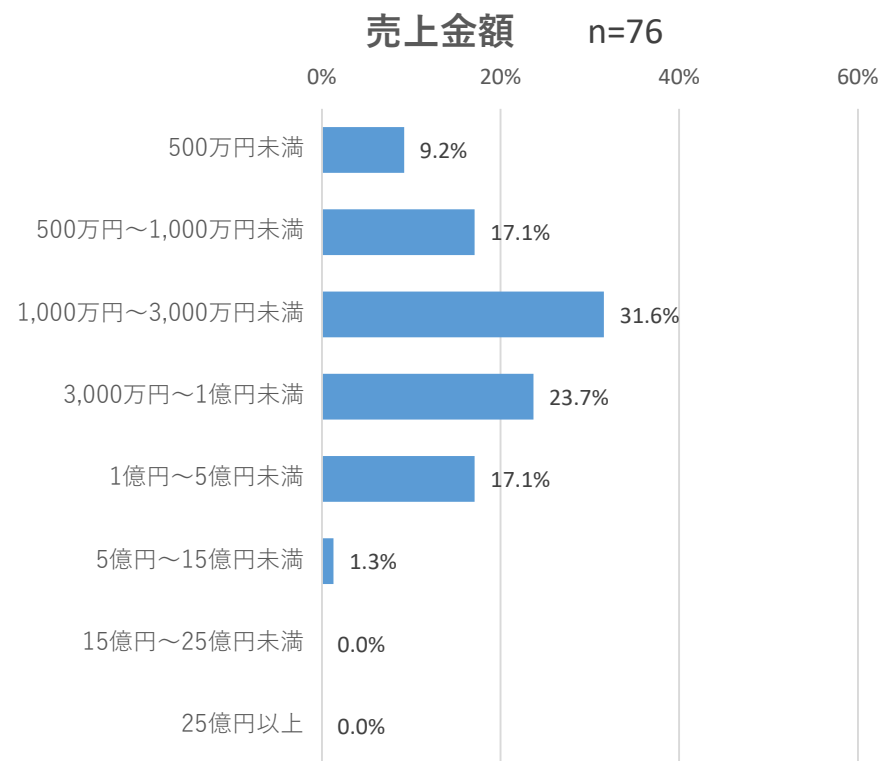
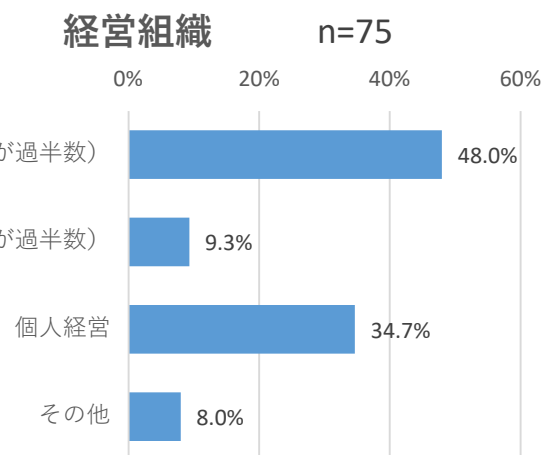
### 【県内調達を増やすために必要な施策・サポート】

- 県産のブランド豚やブランド牛、県内各地の産品をアピールするイベントの開催。
- 県産食材をアピールするための補助。
- 地産地消をしたいので、県内産品を扱う卸売業者を紹介してほしい。

## (2) 飲食業

### (2) 飲食業

#### ① 経営組織・売上金額・平均客室単価

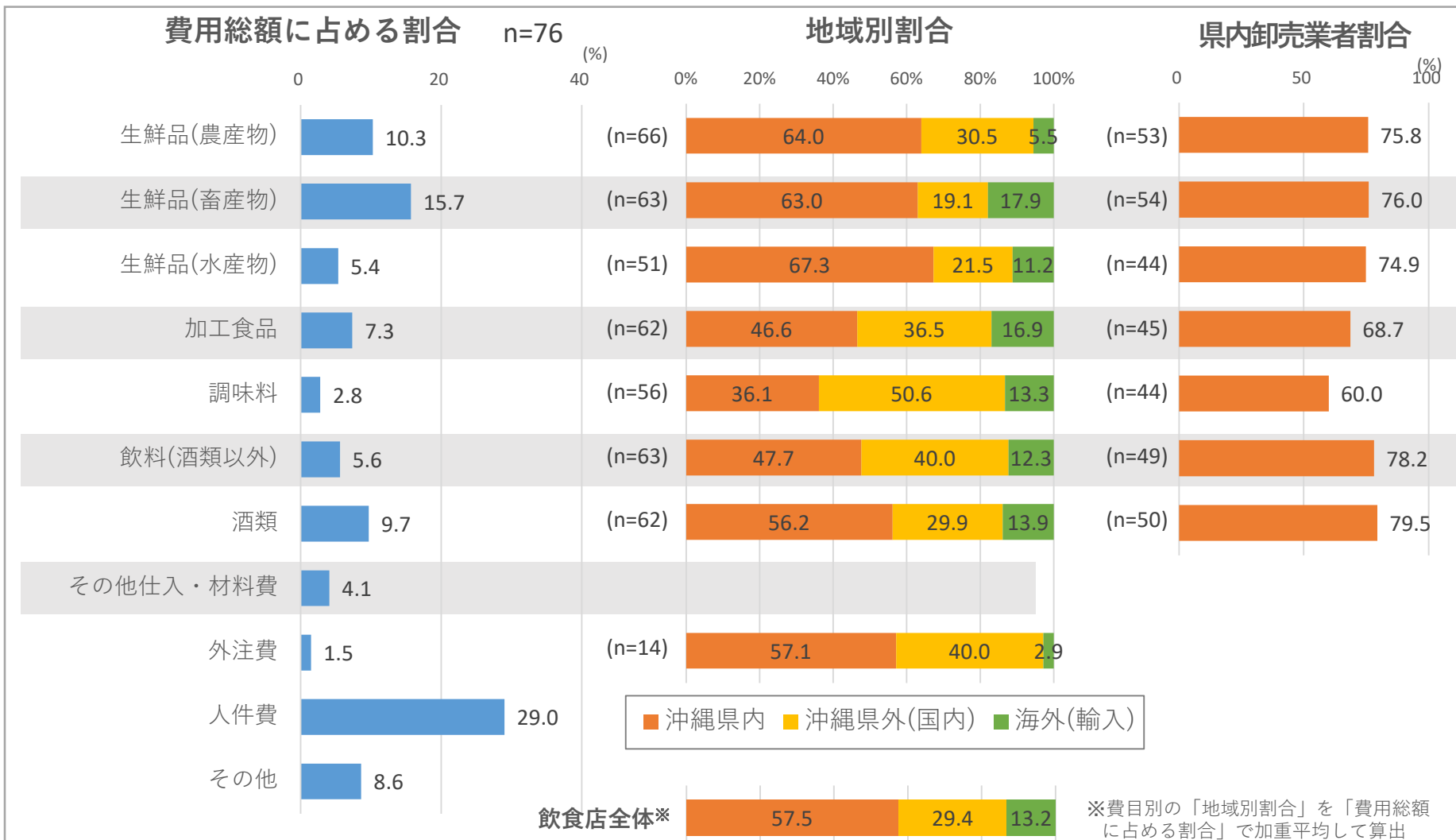




## ② 費用総額に占める割合と県内調達率

### (2) 飲食業

- 費用総額に占める割合が大きい費目は畜産物(約16%)、農産物(約10%)、酒類(約10%)、加工食品(約7%)。
- このうち、県内調達率が比較的低い費目は加工食品(約47%)。

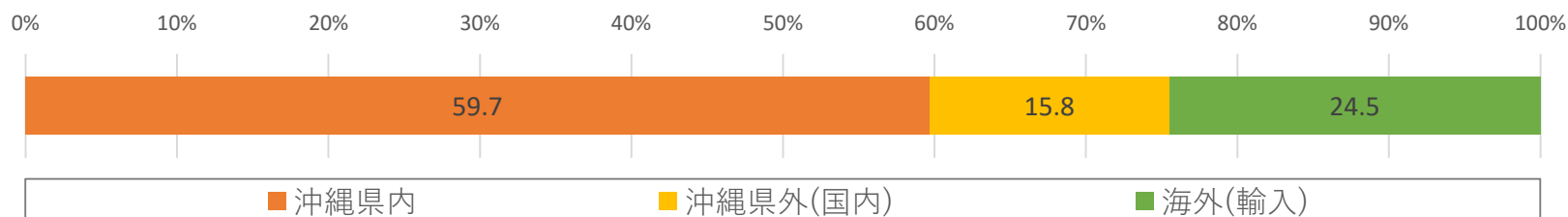


### ③ 品目別の県内調達率と調達理由

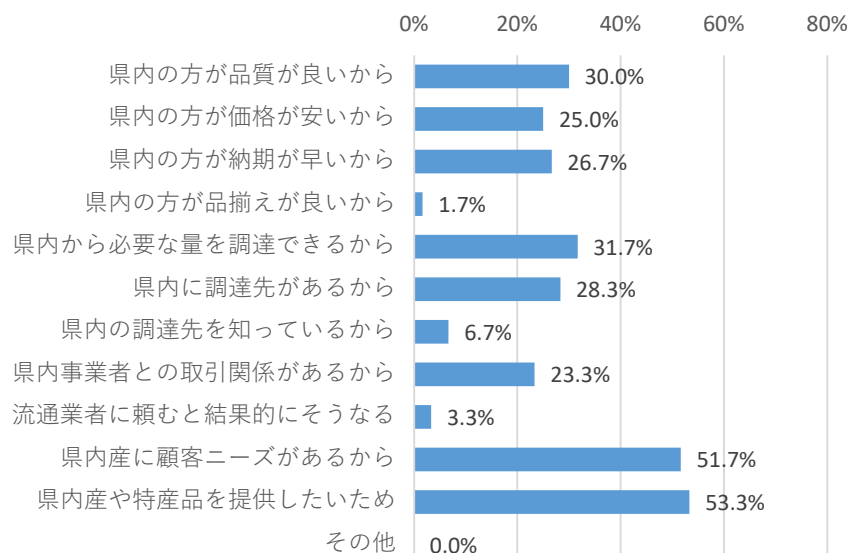
- 肉の県内調達率は約60%。県内調達の理由は「県内産や特産品を提供したいため」「県内産に顧客ニーズがあるから」、県外調達の理由は「価格が安いから」が多い。

#### <肉>

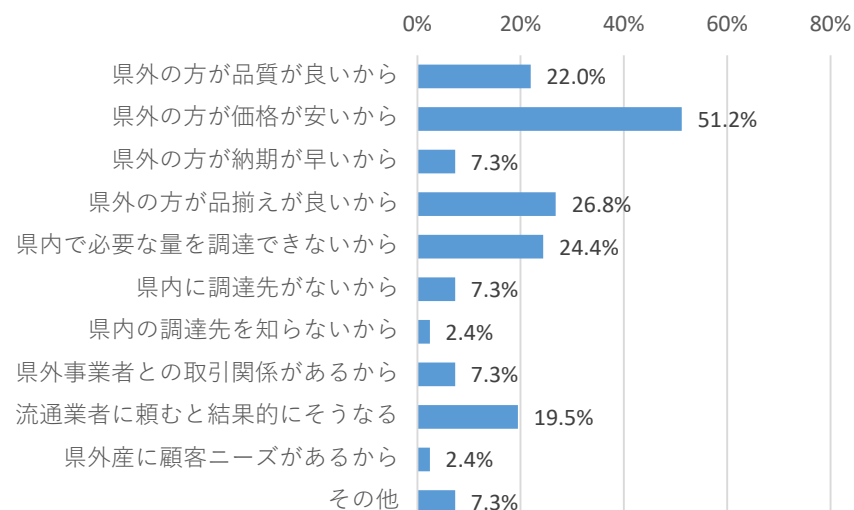
地域別割合 n=80



県内から調達する理由 n=60



県外から調達する理由 n=41

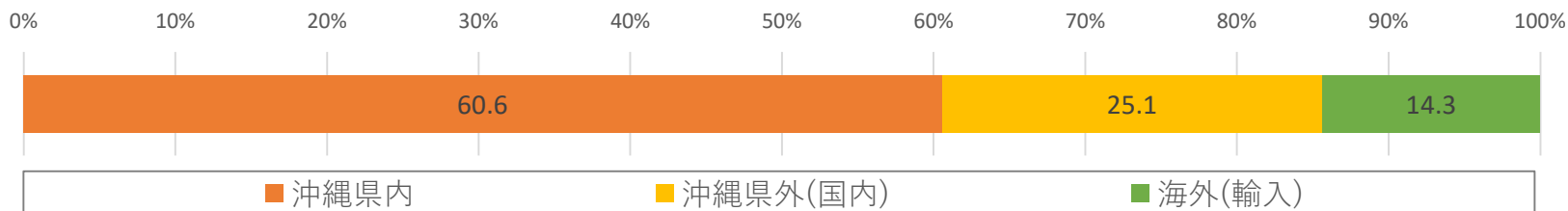


### ③ 品目別の県内調達率と調達理由

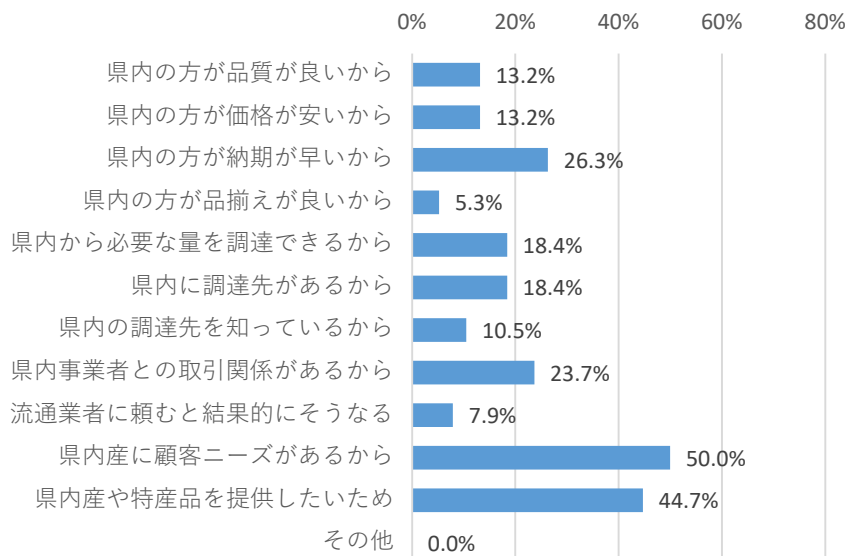
- 酒・アルコール類の県内調達率は約60%。県内調達の理由は「県内産に顧客ニーズがあるから」「県内産や特産品を提供したいため」、県外調達の理由は「品揃えが良いから」が多い。

#### <酒・アルコール類>

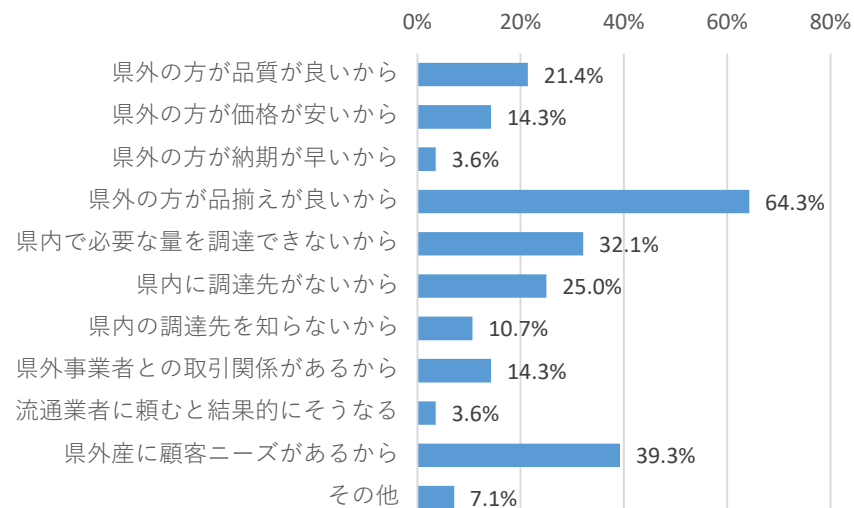
地域別割合 n=46



県内から調達する理由 n=38



県外から調達する理由 n=28

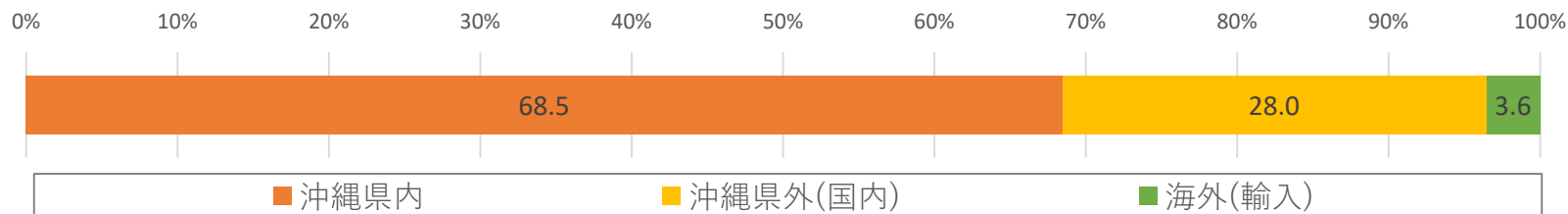


### ③ 品目別の県内調達率と調達理由

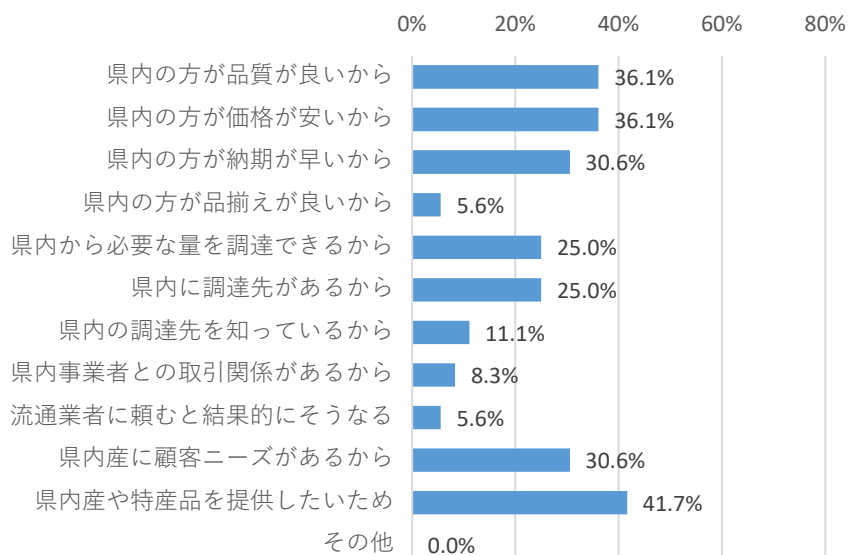
- 野菜の県内調達率は約69%。県内調達の理由は「県内産や特産品を提供したいため」、県外調達の理由は「県内で必要な量を調達できないから」が多い。

#### < 野菜 >

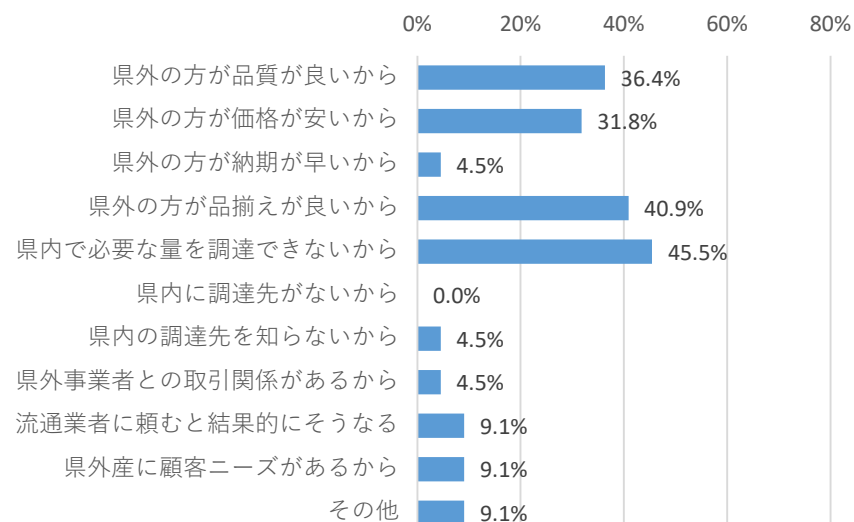
地域別割合 n=38



県内から調達する理由 n=36



県外から調達する理由 n=22

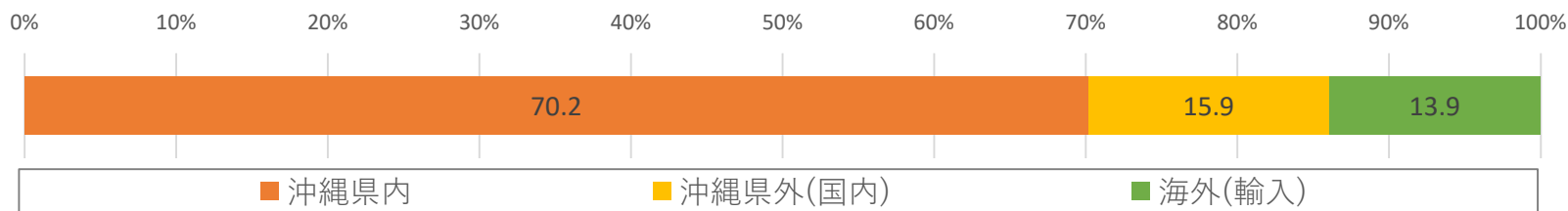


### ③ 品目別の県内調達率と調達理由

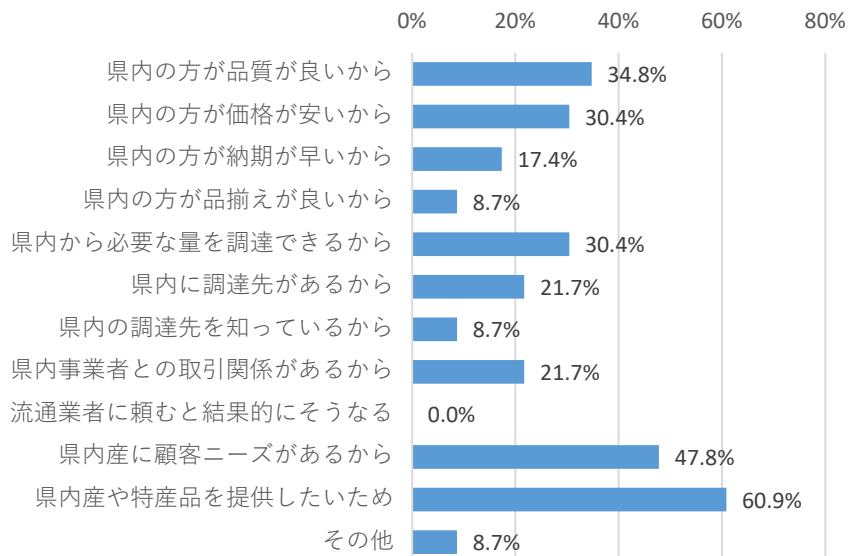
- 魚の県内調達率は約70%。県内調達の理由は「県内産や特産品を提供したいため」「県内産に顧客ニーズがあるから」、県外調達の理由は「品質が良いから」「品揃えが良いから」が多い。

#### <魚>

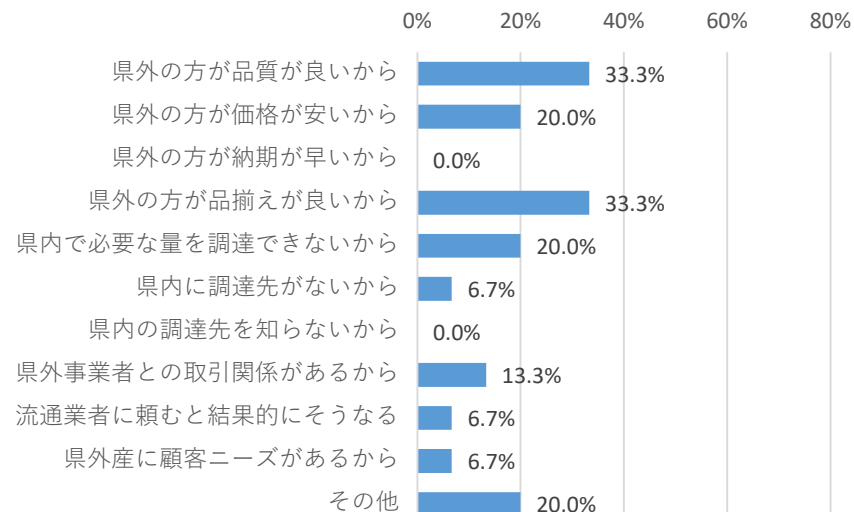
地域別割合 n=28



県内から調達する理由 n=23



県外から調達する理由 n=15

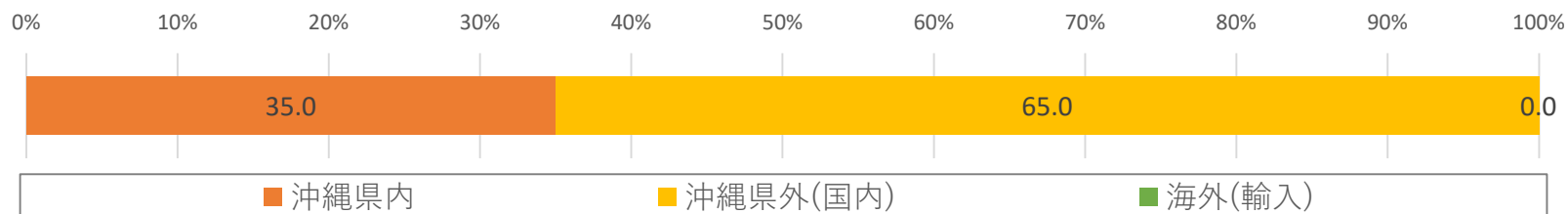


### ③ 品目別の県内調達率と調達理由

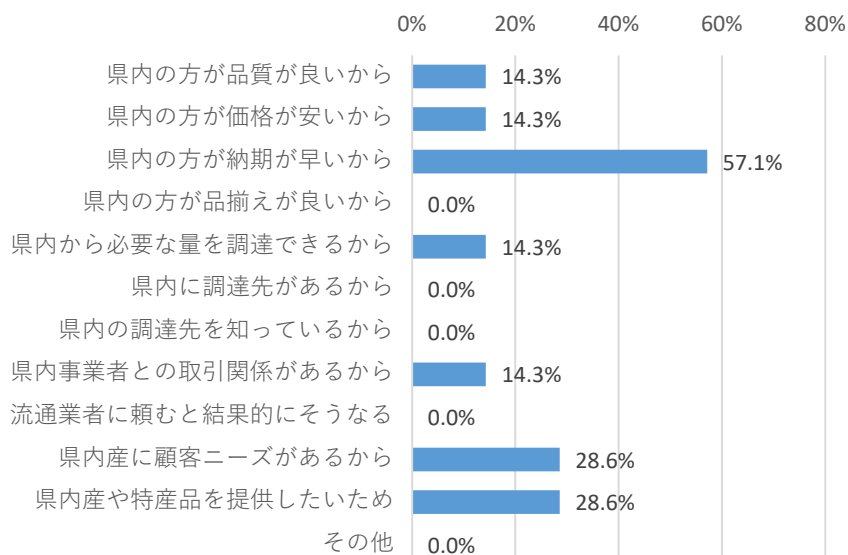
- 米の県内調達率は約35%。県内調達の理由は「納期が早いから」、県外調達の理由は「品質が良いから」が多い。

#### <米>

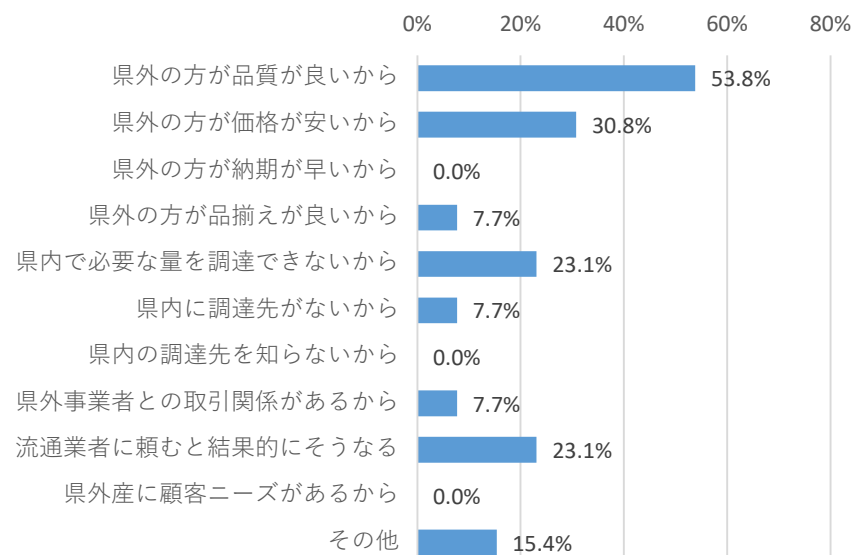
地域別割合 n=20



県内から調達する理由 n=7



県外から調達する理由 n=13

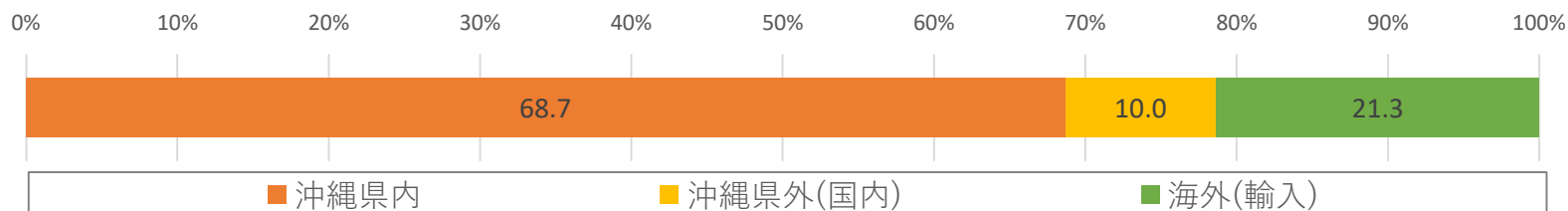


### ③ 品目別の県内調達率と調達理由

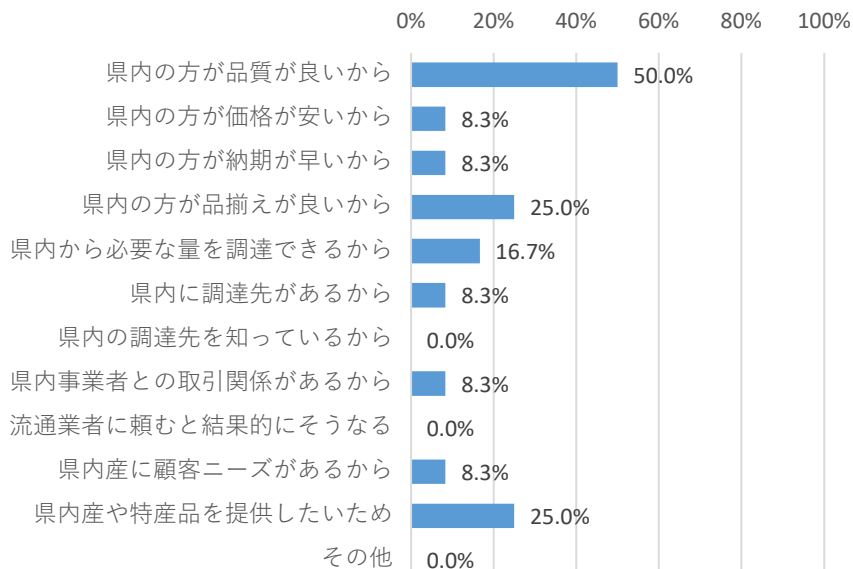
- 果実の県内調達率は約69%。県内調達の理由は「品質が良いから」、県外調達の理由は「価格が安いから」が多い。

#### < 果実 >

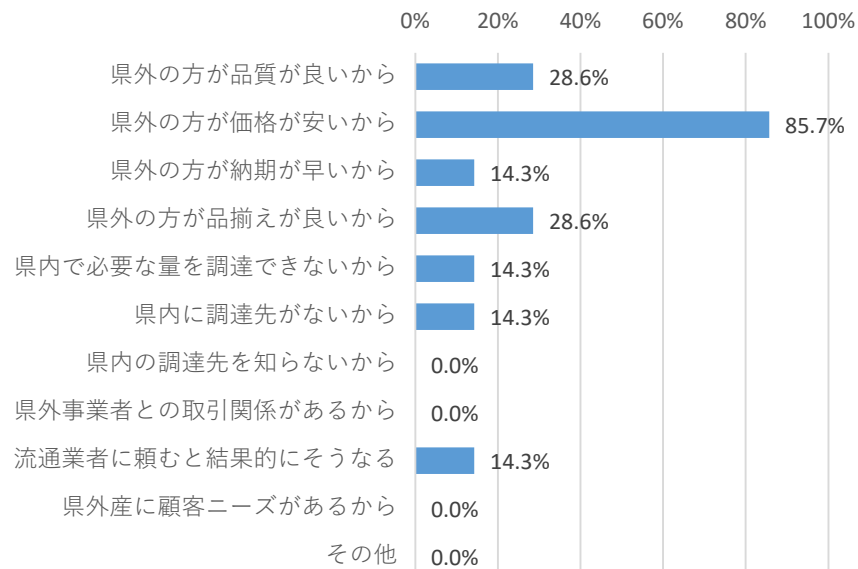
地域別割合 n=15



県内から調達する理由 n=12



県外から調達する理由 n=7



#### ④ ご意見等（抜粋）

##### 【県内調達を増やせる可能性のあるもの】

- 米粉や白玉粉。
- 県内の海産物（カキ、サザエ、ウニ、エビ）。
- 鶏肉は離島での生産があれば使いたいが見当たらない。
- 牛肉の価格高騰により外国産が仕入れしにくくなっている。県産の牛肉が市場で安価に仕入れる事が出来ると良い。

##### 【県内調達を増やすうえでの課題】

- 台風などの災害があると調達が難しくなるため、必要量を確保するためには県外頼りになる。
- 国産や無農薬なものにこだわっている。沖縄県内で、無農薬で抗生物質を使用していない肉類などが欲しいが、そもそもあるのかがわからない。

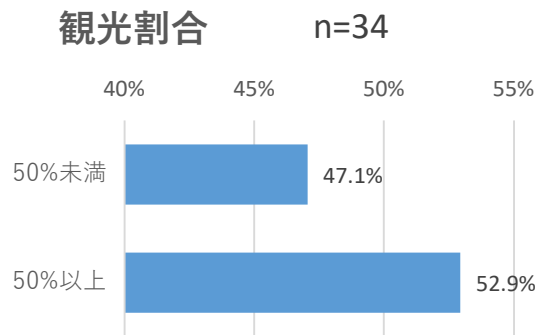
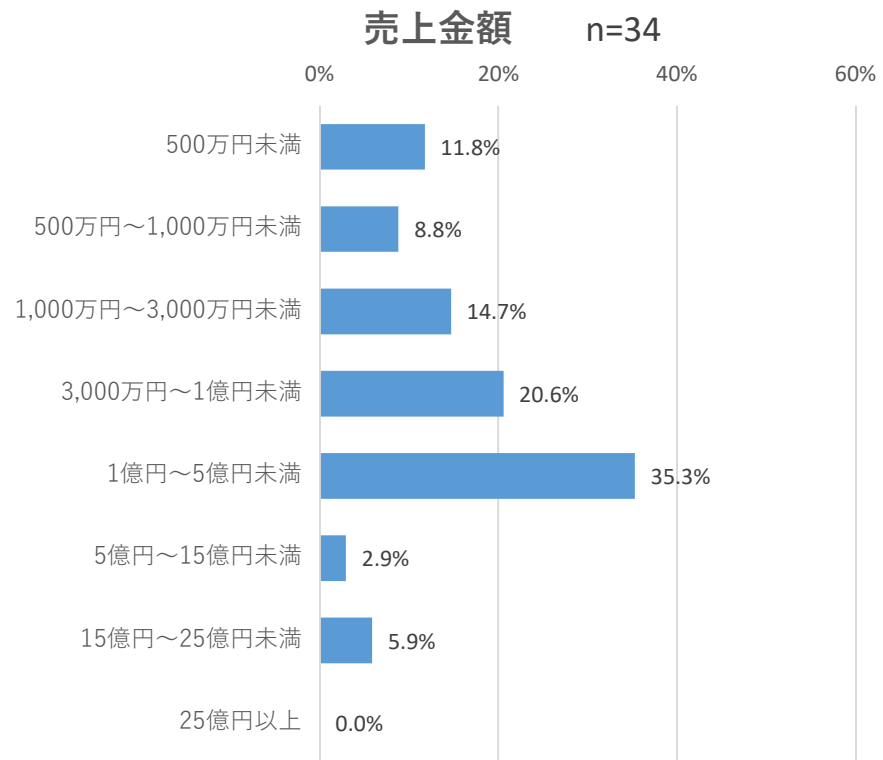
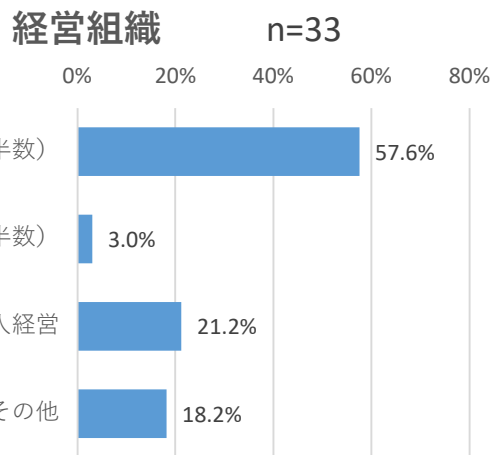
##### 【県内調達を増やすために必要な施策・サポート】

- 車海老（養殖）、黒毛和牛、小麦など、市場のニーズに生産が追いついていない一次産業の拡大を支援すべき。
- 県内産野菜や加工品の知名度が低いため、県外へのアピールが必要
- 県内の小規模生産者が将来の不安なく、事業を続けていけるような政策が必要。
- 生産者を全面的に支える政策が必要。
- 農産品は「ブランド力」があるものも豊富にあるので、「オーギー・ビーフ」のような名称や、ライセンス料を取る仕組みなどがあると良いのではないかと。
- 野菜、鮮魚、肉類や旬の物について、買い方などをメディアでもっと広げてもらいたい。
- こだわりをもって県内産を使っているお店をピックアップして、貢献度に応じて補助するのはどうか。



# (3) 菓子製造業

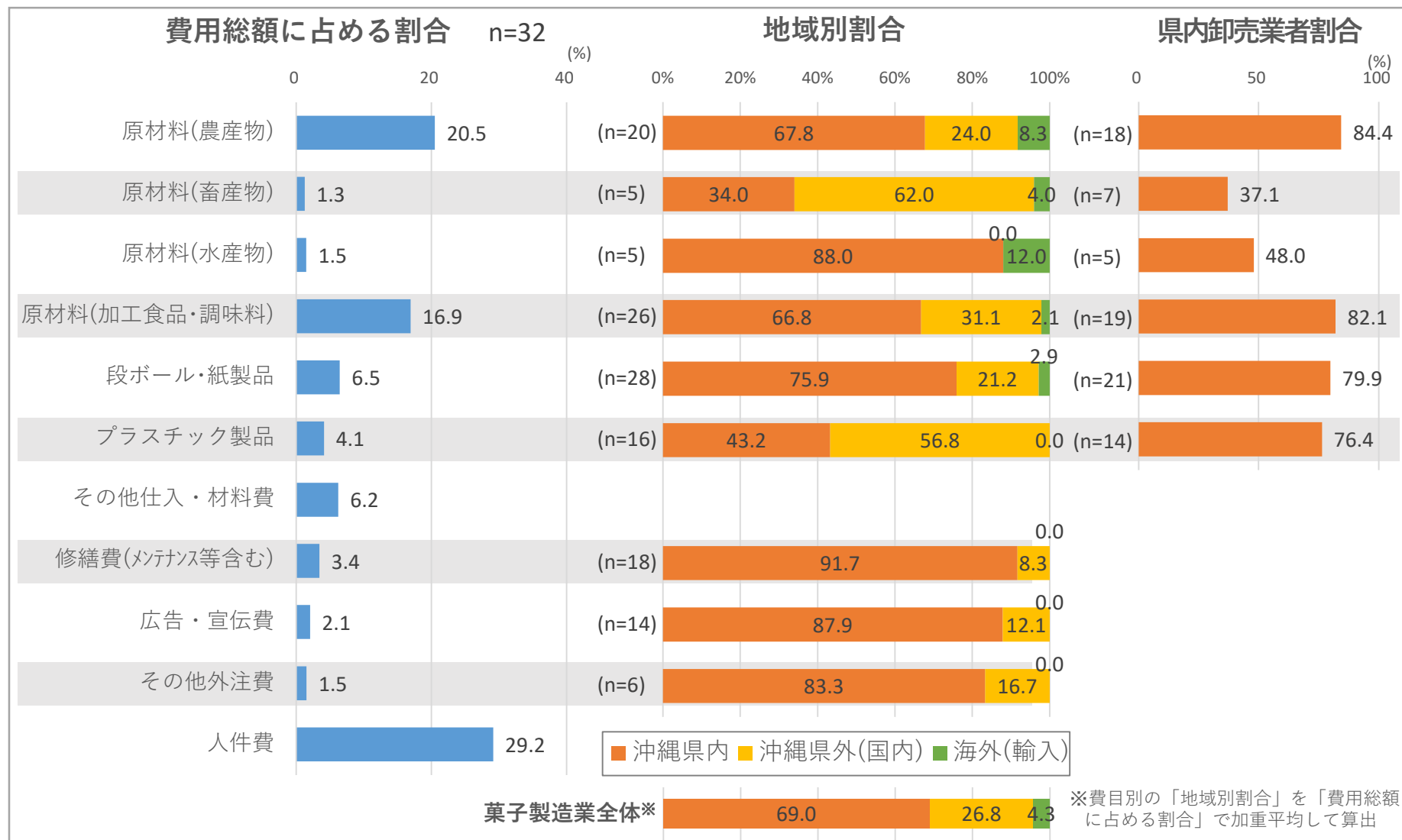
## ① 経営組織・売上金額・平均客室単価



## ② 費用総額に占める割合と県内調達率

## (3) 菓子製造業（土産品）

- 費用総額に占める割合が大きい費目は農産物(約21%)、加工食品・調味料(約17%)、段ボール・紙製品(約7%)、プラスチック製品(約4%)。
- このうち、県内調達率が比較的低い費目はプラスチック製品(約43%)。

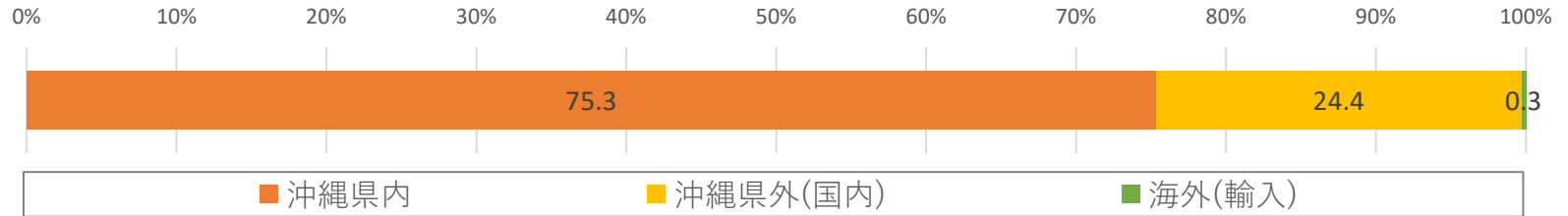


### ③ 品目別の県内調達率と調達理由

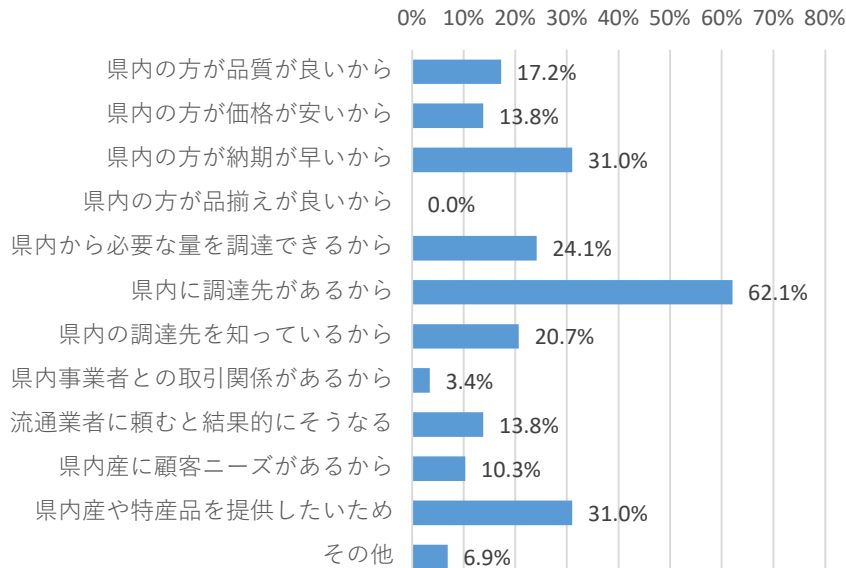
- 調味料の県内調達率は約75%。県内調達の理由は「県内に調達先があるから」、県外調達の理由は「県内で必要な量を調達できないから」が多い。

#### <調味料>

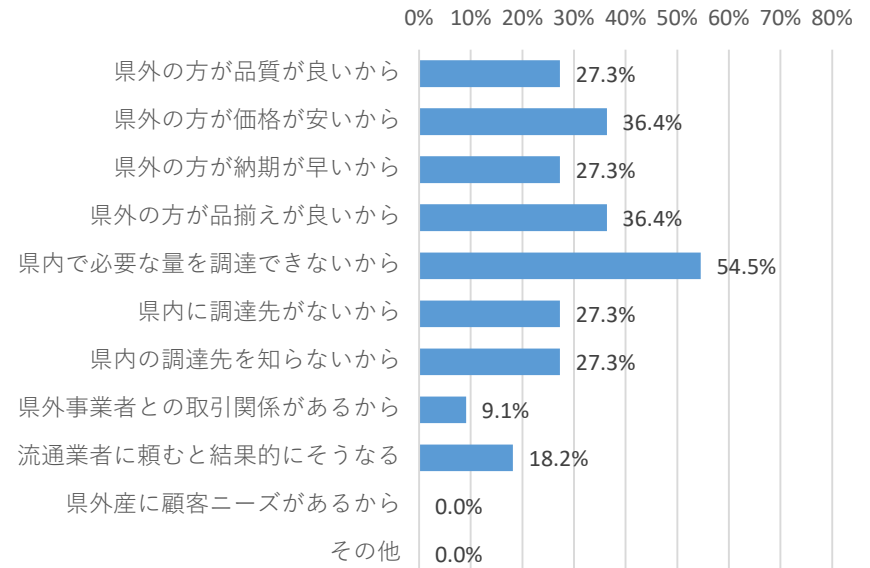
地域別割合 n=40



県内から調達する理由 n=29



県外から調達する理由 n=11



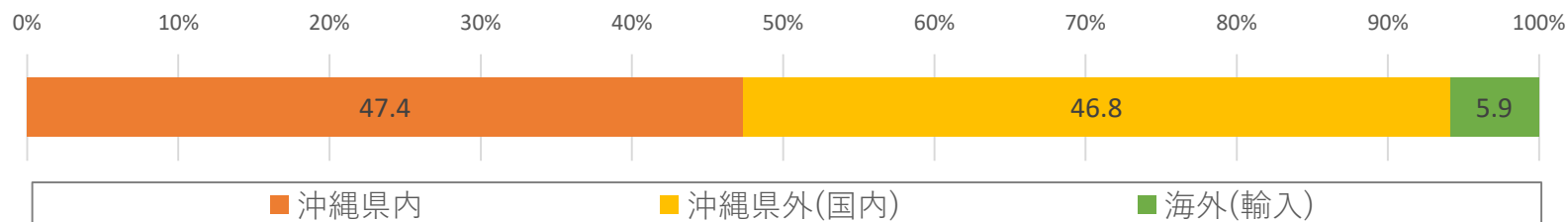
## (3) 菓子製造業（土産品）

## ③ 品目別の県内調達率と調達理由

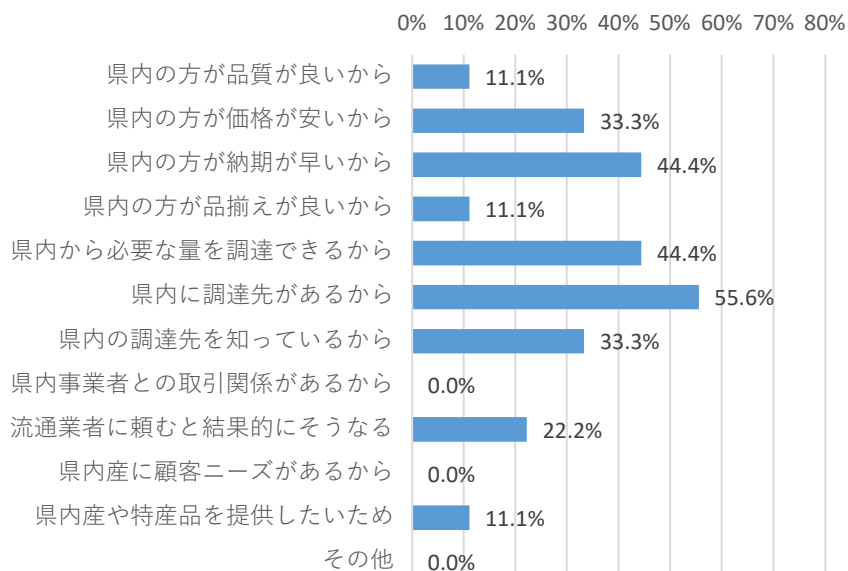
- 小麦粉の県内調達率は約47%。県内調達の理由は「県内に調達先があるから」、県外調達の理由は「県内で必要な量を調達できないから」が多い。

## &lt;小麦粉&gt;

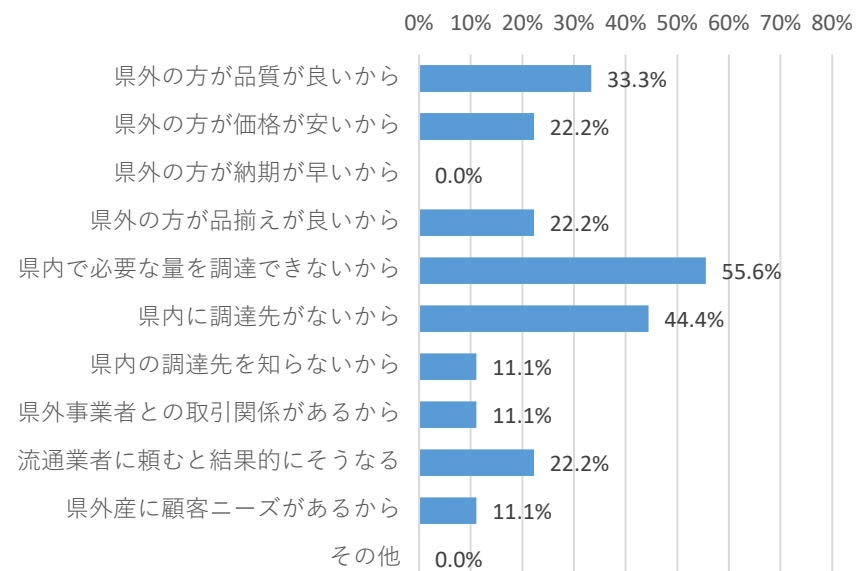
地域別割合 n=17



県内から調達する理由 n=9



県外から調達する理由 n=9



#### ④ ご意見等（抜粋）

【県内調達を増やせる可能性のあるもの】

- 規格外の農産物。
- 商工会経由でHACCP対応の事業者をご紹介いただけただため、県内業者に製造を依頼することになった。

【県内調達を増やすうえでの課題】

- 県内業者に頼むと配達ができなかったりする。県外業者だと必然的に運送業者を使うので、店まで配達してもらえる。配達してもらえる県内業者をさがしている。
- 離島だと、船賃などいろいろ経費がかかる。

【県内調達を増やすために必要な施策・サポート】

- 沖縄県内の特色ある食材の認知度向上に期待。
- 県内生産者の支援や農作面積拡大（休耕地の借用料支援等）が重要。

## (4) 小売業

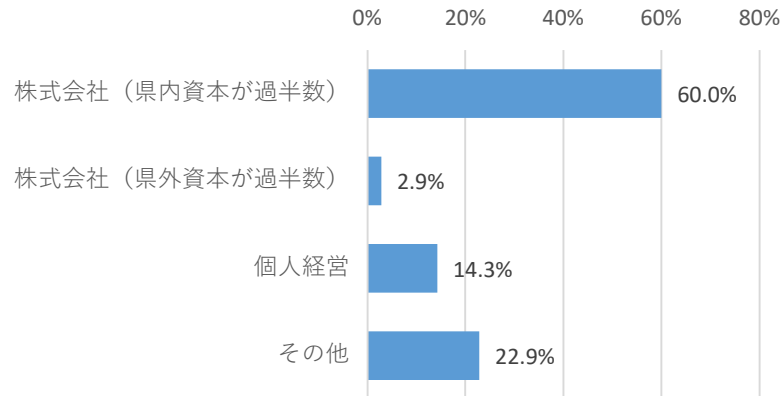
※国際通り周辺と那覇空港内の店舗を対象に調査

## (4) 小売業 (土産品店)

### ① 経営組織・売上金額・平均客室単価

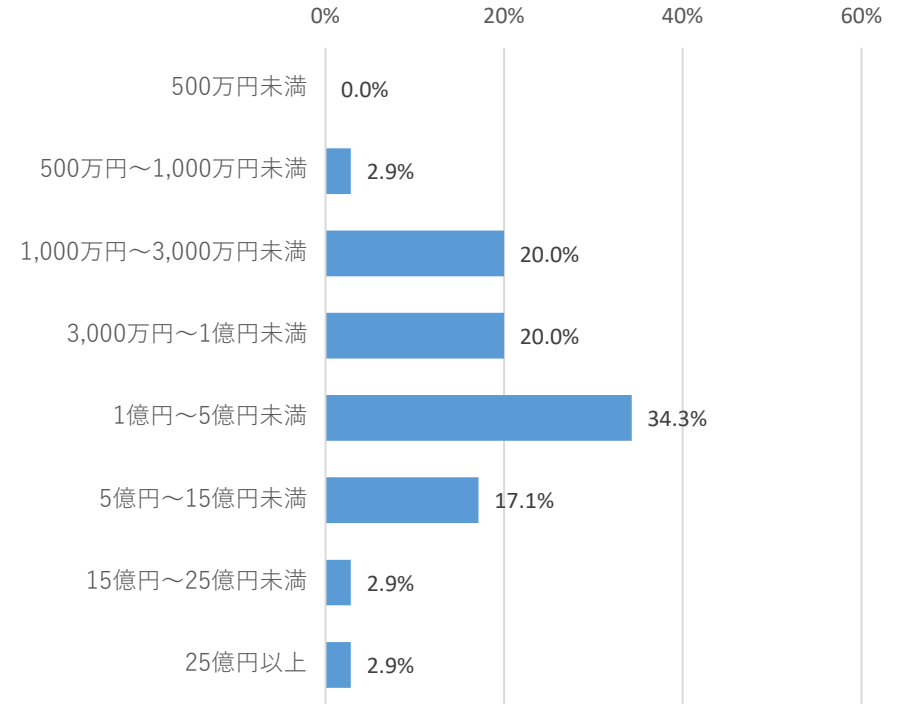
#### 経営組織

n=35



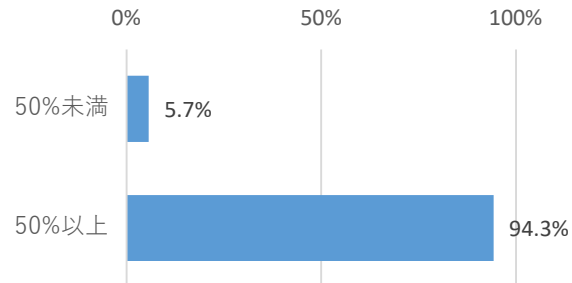
#### 売上金額

n=35



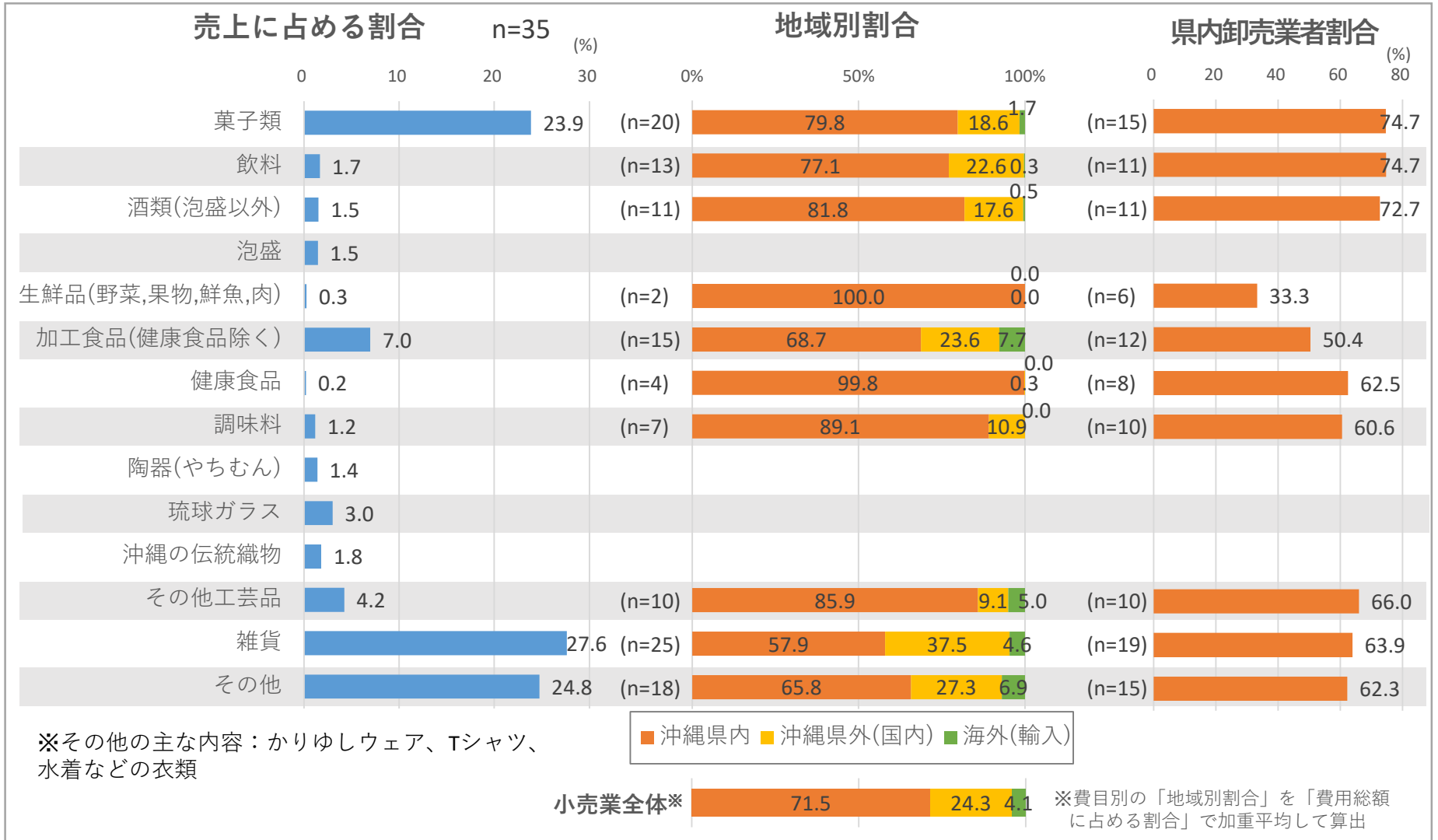
#### 観光割合

n=35



## ② 費用総額に占める割合と県内調達率

- 売上に占める割合が大きい費目は雑貨(約28%)、菓子類(約24%)。健康食品や伝統工芸品等の割合が低い。
- このうち、県内調達率が比較的低い費目は雑貨(約58%)。

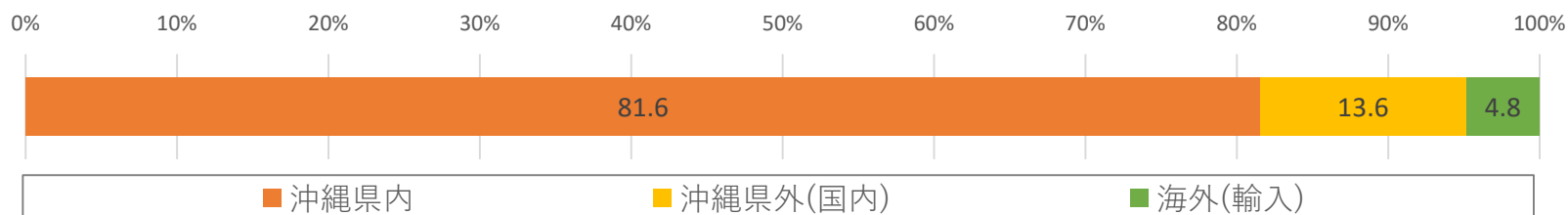


### ③ 品目別の県内調達率と調達理由

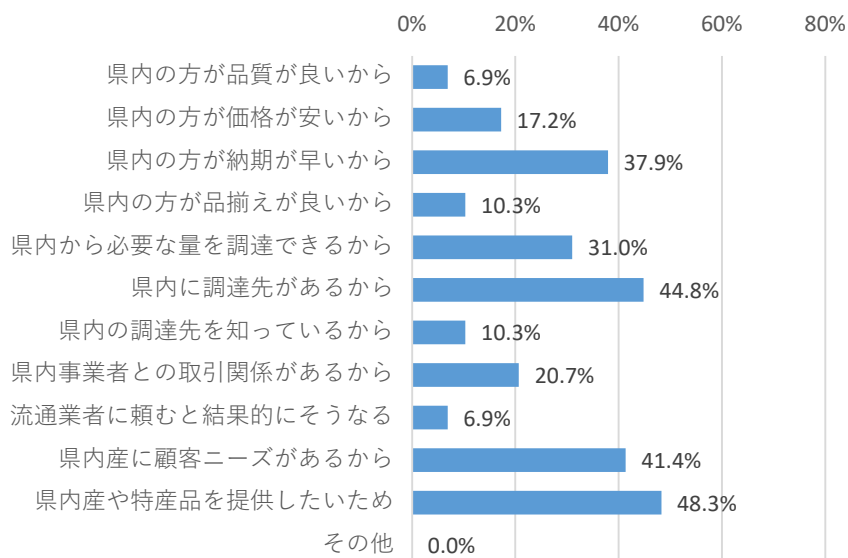
- 焼菓子の県内調達率は約82%。県内調達の理由は「県内産や特産品を提供したいため」「県内に調達先があるから」「県内産に顧客ニーズがあるから」「納期が早いから」、県外調達の理由は「その他」が多い。

#### < 焼菓子 >

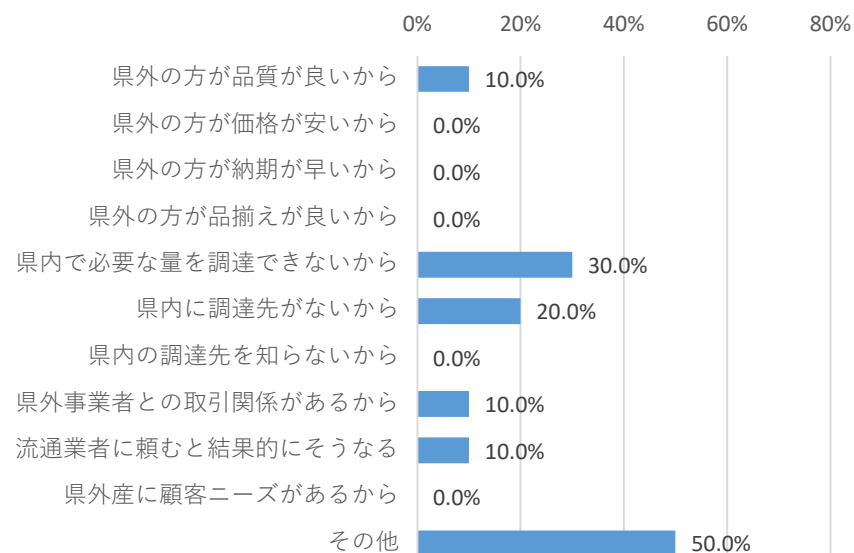
地域別割合 n=29



県内から調達する理由 n=29



県外から調達する理由 n=10



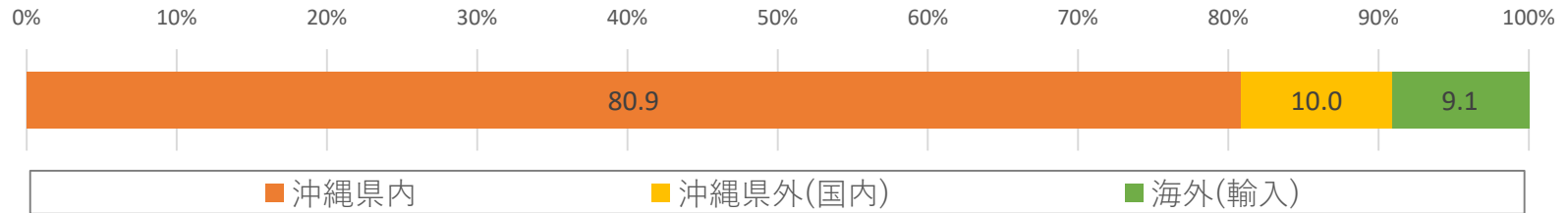


### ③ 品目別の県内調達率と調達理由

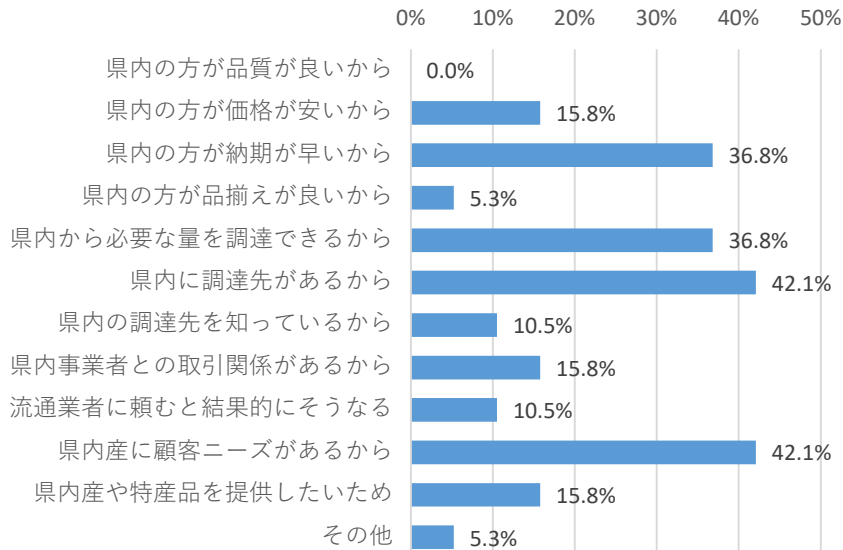
- 衣類の県内調達率は約81%。県内調達の理由は「県内に調達先があるから」「県内産に顧客ニーズがあるから」、県外調達の理由は「県内に調達先がないから」「県外事業者との取引関係があるから」が多い。

#### <衣類>

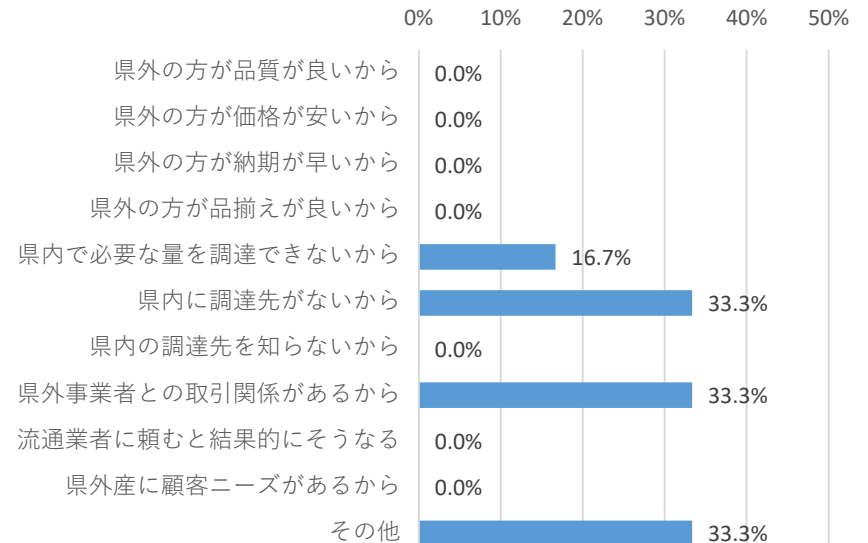
地域別割合 n=22



県内から調達する理由 n=19



県外から調達する理由 n=6

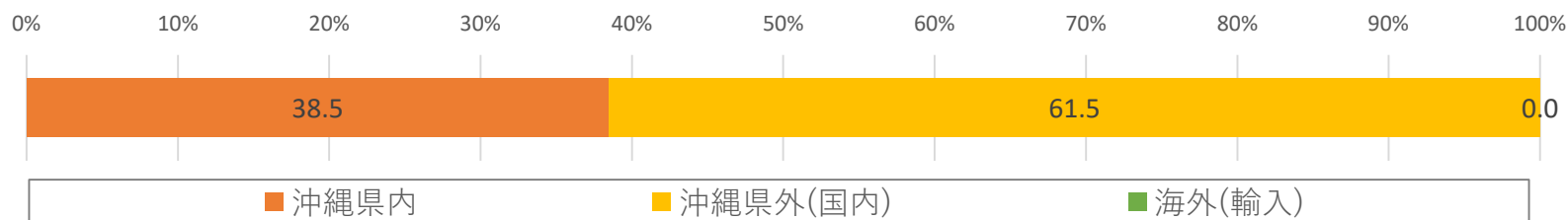


### ③ 品目別の県内調達率と調達理由

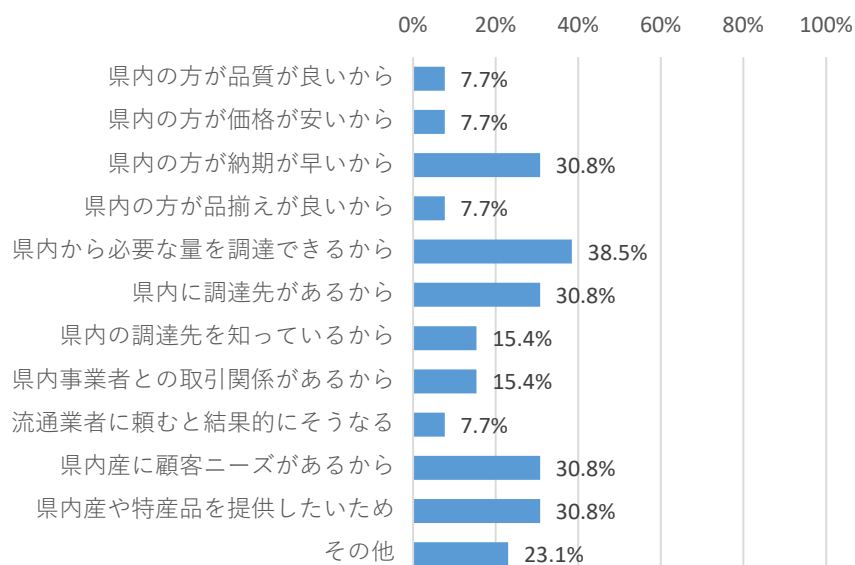
- 雑貨の県内調達率は約39%。県内調達の理由は「県内から必要な量を調達できるから」、県外調達の理由は「県内に調達先がないから」が多い。

#### < 雑貨 >

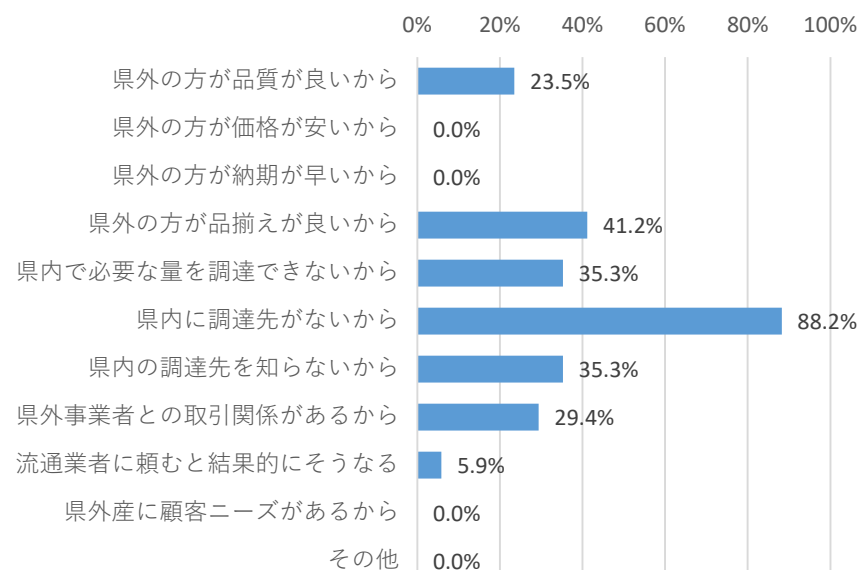
#### 地域別割合 n=20



#### 県内から調達する理由 n=13



#### 県外から調達する理由 n=17



## ④ ご意見等（抜粋）

## 【県内調達を増やせる可能性のあるもの】

- 海産物。
- 売れ筋がぬいぐるみであるため県内でも調達できれば優先したいが、それがないため県外に依頼している。

## 【県内調達を増やすうえでの課題】

- 県内製造メーカーが少ない。工場用地も限られている。
- なるべく地元企業の商品を導入するよう心掛けているが、需要の量に対応できる業者となると県外企業のほうが有利になる。量に対応できるのであれば、県内からの調達を増やすことも可能。
- 本社が県外なので、地元の商材についての情報が少ない。その為、道の駅等を回って商材を探している。
- 観光客は沖縄らしさ&リゾート感を求めているが、「かりゆしウェア」は価格の壁がある。企業ロゴTシャツが今年良く売れたのは手軽に「沖縄らしさ」を演出できるから。県産の値段が高い「かりゆしウェア」とは別に、もっとカジュアルな「かりゆしウェア」を製造・販売できれば。

## 【県内調達を増やすために必要な施策・サポート】

- 伝統工芸職人の育成と支援。数が少ないため安定した調達ができない。
- 県内業者による商品企画力の向上。

## (5) 県内/県外から調達する理由の比較

- 多く選択されている調達理由（県内産の強み、県外産の強み）
  - ◆ 品質の良さ：県内産の「肉」「果実」、県外産の「米」
  - ◆ 価格の安さ：県内産の「卵」、県外産の「米」「野菜」「肉」「果実」
  - ◆ 納期の早さ：県内産の「パン・めん」
  - ◆ 品揃えの良さ：県外産の「パン・めん」、◆ 県内で必要な量を調達できない：県外産の「小麦粉」「調味料」
  - ◆ 県内に調達先がある：県内産の「飲料」「小麦粉」「調味料」、◆ 県内に調達先がない：県外産の「雑貨」
  - ◆ 県内産への顧客ニーズ、特産品としての提供：県内産の「肉」「魚」「酒・アルコール類」

		宿泊業							飲食店					菓子製造業		小売業				
		野菜	肉	米	飲料	卵	酒・アルコール類	パン・めん	魚	肉	酒・アルコール類	野菜	魚	米	果実	調味料	小麦粉	焼菓子	衣類	雑貨
県内から調達する理由	県内の方が品質が良いから	29.5%	40.6%	13.3%	0.0%	23.1%	0.0%	30.0%	25.0%	30.0%	13.2%	36.1%	34.8%	14.3%	50.0%	17.2%	11.1%	6.9%	0.0%	7.7%
	県内の方が価格が安いから	29.5%	28.1%	26.7%	25.0%	38.5%	16.7%	30.0%	12.5%	25.0%	13.2%	36.1%	30.4%	14.3%	8.3%	13.8%	33.3%	17.2%	15.8%	7.7%
	県内の方が納期が早いから	27.3%	25.0%	46.7%	50.0%	38.5%	33.3%	80.0%	50.0%	26.7%	26.3%	30.6%	17.4%	57.1%	8.3%	31.0%	44.4%	37.9%	36.8%	30.8%
	県内の方が品揃えが良いから	15.9%	12.5%	6.7%	16.7%	7.7%	8.3%	20.0%	12.5%	1.7%	5.3%	5.6%	8.7%	0.0%	25.0%	0.0%	11.1%	10.3%	5.3%	7.7%
	県内から必要な量を調達できるから	25.0%	28.1%	26.7%	8.3%	0.0%	33.3%	10.0%	25.0%	31.7%	18.4%	25.0%	30.4%	14.3%	16.7%	24.1%	44.4%	31.0%	36.8%	38.5%
	県内に調達先があるから	36.4%	28.1%	40.0%	58.3%	23.1%	25.0%	40.0%	12.5%	28.3%	18.4%	25.0%	21.7%	0.0%	8.3%	62.1%	55.6%	44.8%	42.1%	30.8%
	県内の調達先を知っているから	13.6%	18.8%	0.0%	8.3%	7.7%	8.3%	0.0%	12.5%	6.7%	10.5%	11.1%	8.7%	0.0%	0.0%	20.7%	33.3%	10.3%	10.5%	15.4%
	県内事業者との取引関係があるから	20.5%	21.9%	20.0%	8.3%	7.7%	16.7%	10.0%	12.5%	23.3%	23.7%	8.3%	21.7%	14.3%	8.3%	3.4%	0.0%	20.7%	15.8%	15.4%
	流通業者に頼むと結果的にそうなる	9.1%	12.5%	13.3%	0.0%	23.1%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	7.9%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	13.8%	22.2%	6.9%	10.5%	7.7%
	県内産に顧客ニーズがあるから	13.6%	9.4%	6.7%	0.0%	0.0%	16.7%	10.0%	25.0%	51.7%	50.0%	30.6%	47.8%	28.6%	8.3%	10.3%	0.0%	41.4%	42.1%	30.8%
	県内産や特産品を提供したいため	22.7%	21.9%	26.7%	16.7%	0.0%	33.3%	10.0%	0.0%	53.3%	44.7%	41.7%	60.9%	28.6%	25.0%	31.0%	11.1%	48.3%	15.8%	30.8%
	その他	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.7%	0.0%	0.0%	6.9%	0.0%	0.0%	5.3%	23.1%
県外から調達する理由	県外の方が品質が良いから	22.2%	4.5%	56.3%	9.1%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	22.0%	21.4%	36.4%	33.3%	53.8%	28.6%	27.3%	33.3%	10.0%	0.0%	23.5%
	県外の方が価格が安いから	44.4%	50.0%	50.0%	36.4%	20.0%	20.0%	25.0%	0.0%	51.2%	14.3%	31.8%	20.0%	30.8%	85.7%	36.4%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%
	県外の方が納期が早いから	11.1%	9.1%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.3%	3.6%	4.5%	0.0%	0.0%	14.3%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	県外の方が品揃えが良いから	29.6%	22.7%	12.5%	0.0%	20.0%	0.0%	75.0%	25.0%	26.8%	64.3%	40.9%	33.3%	7.7%	28.6%	36.4%	22.2%	0.0%	0.0%	41.2%
	県内で必要な量を調達できないから	37.0%	22.7%	12.5%	9.1%	20.0%	0.0%	50.0%	25.0%	24.4%	32.1%	45.5%	20.0%	23.1%	14.3%	54.5%	55.6%	30.0%	16.7%	35.3%
	県内に調達先がないから	22.2%	0.0%	6.3%	36.4%	0.0%	40.0%	0.0%	25.0%	7.3%	25.0%	0.0%	6.7%	7.7%	14.3%	27.3%	44.4%	20.0%	33.3%	88.2%
	県内の調達先を知らないから	3.7%	0.0%	6.3%	45.5%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	2.4%	10.7%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%	11.1%	0.0%	0.0%	35.3%
	県外事業者との取引関係があるから	7.4%	4.5%	0.0%	9.1%	20.0%	0.0%	25.0%	0.0%	7.3%	14.3%	4.5%	13.3%	7.7%	0.0%	9.1%	11.1%	10.0%	33.3%	29.4%
	流通業者に頼むと結果的にそうなる	14.8%	31.8%	6.3%	27.3%	60.0%	0.0%	25.0%	50.0%	19.5%	3.6%	9.1%	6.7%	23.1%	14.3%	18.2%	22.2%	10.0%	0.0%	5.9%
	県外産に顧客ニーズがあるから	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	39.3%	9.1%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	7.4%	9.1%	6.3%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	7.3%	7.1%	9.1%	20.0%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	33.3%	0.0%

※表中の色の濃淡は、横方向で比較した際の相対的な数値の大きさを基準としている。

## 2. ヒアリング調査

## ヒアリング調査の概要

調査目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内調達の状況把握、県内調達に関する意見の収集</li> <li>観光客への販売状況把握、観光客による消費促進に関する意見の収集</li> </ul>				
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>対面による聞き取り調査</li> </ul>				
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄県内の下記業種における、業界関連団体又は代表的な事業者</li> </ul> <p>対象業種：宿泊業、飲食業、小売業、菓子製造業、泡盛製造業、陶器製造業、琉球ガラス製造業、伝統染織物製造業</p>				
調査期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>2023年9月29日(金)～12月13日(水)</li> </ul>				
調査件数		(1)宿泊業	(2)飲食業	(3)菓子製造業 (土産品)	(4)小売業 (土産品店)
	件数	2	1	1	2
		(5)泡盛製造業	(6)陶器製造業	(7)琉球ガラス 製造業	(8)伝統染織物 製造業
	件数	2	2	1	2

# (1) 宿泊業

調査対象者

① 業界団体

※ 抜粋

## <調達について>

### 食材

- 地産地消を行っている宿泊施設での食材は、市場か、つながりのある農家などの生産者から直接仕入れていると聞く。
- 基本的には県内事業者から調達したい宿泊施設が多い。しかしその際、そもそも県内の農地や農家で供給が可能なのかという問題がある。
- 県産食材を活用し、高価格帯で食事を提供しているホテルもある。

### アメニティ

- 共同購買しているアメニティは、すべて県外企業から仕入れている。アメニティを調達できる島内企業がないことが大きな課題。
- SDGs対応で、プラスチックの歯ブラシをやめる動きが広がりつつある。藁を37%含む歯ブラシの扱いも始めた。SDGs対応しやすいのは、例えばストローで、サトウキビでできたストローもある。しかしコストがかかるため、価格転嫁できる高価格帯のところしか導入できない。

### リネンサプライ

- リネン・清掃サービスは県内企業を利用している施設が多い。しかしリネンサービスも人手不足で、取引できなくなる宿泊施設も発生している。久米島では、リネンサービスを供給する事業者がなくなり大変困っている状況だと聞く。

## <ご意見>

- 食材について、地産地消を増やすためには、欲しいタイミングで欲しいものが供給されることが条件になる。鮮度も重要なので、すべてを冷凍にはできない。
- 規格外の食材はもっと扱える可能性がある。規格外食材の供給先として、ホテルは魅力的なのではないか。ただし、こうした食材を扱う場、ルートが必要となる。

# (1) 宿泊業

調査対象者

② 宿泊施設（大規模リゾートホテル）

※ 抜粋

< 調達について >

## 食材

- 卸売業者は県内業者が多い。量と安定性を最も重視している。
- フルーツや海ぶどうなど、地元の産品に対する顧客ニーズがある。提供するとお客様の反応も良い。特に特色のあるものが好まれる。
- 地産のものを扱いたいので、近隣の市場でマグロや練り物を仕入れたり、地元産の泡盛を使っている。

< ご意見 >

- 県外資本の宿泊業者が増えていると思うが、県産品のことをあまり知らないことが課題ではないか。弊社も県外資本だが、沖縄の産品に関する情報を得られる機会が少ないと感じる。展示会などに参加することもあるが、知らないことが多すぎて、いつも新しい発見がある。
- おそらく地元では当たり前前の素材の良さが、宿泊施設には伝わっていない。良さが分からないと、宿泊施設としても使いづらいし、お客様にもおすすめができない。



## (2) 飲食業

調査対象者

① 業界団体

※ 抜粋

### <調達について>

#### 食材

- 県産の食材を使いたいという想いはある。肉などメインの食材のとしての利用なら考えられるが、サブの食材としてなら代用できる安いものを使う。サブの食材にはお金をかけられない。
- サブの食材で県産品を使わない理由としては、コストがかかることと、年間を通じて購入できないこと。例えば熊本県産などの県外産は農業生産の規模が異なるからどうしても県内産では価格の点で太刀打ちできない。
- 県産の豚肉は使うが、モツやナカミは県産だけでは賄えないので、県外産を使う。
- 島野菜も年間を通じて供給されていない。紅芋が手に入らないので、サツマイモで代用したこともあった。

### <ご意見>

- 客単価が高いお店であれば、県産の野菜なども使えるが、数としては少ない。
- 県内産も県外産も同様に食材の価格が高騰している。海外産は円安の影響でさらに大きく、パイナップルの価格は2倍になった。価格転嫁ができず、人件費も上がってきているので、経費を削るしかない。そうなると、営業時間を短くして対応するしかない。観光にとって、夜の時間帯にお店が空いていないというのは大きな問題。
- 県内食材の中も、畜産や水産は県外に売った方が高く売れて利益が出ると聞く。県内で消費することが生産者にとって必ずしもメリットがあるとは限らない。
- 観光客や旅行会社相手だと、半年前にメニューなどの価格を出して、パンフレットなどにも載せてしまっている。食材価格が高騰したからといって、簡単に価格を上げることができない。
- 人手不足が深刻で、稼働をおさえざるを得ないことが大きな課題。

### (3) 菓子製造業（土産品）

#### 調査対象者

#### ① 菓子製造業者

※ 抜粋

#### < 調達について >

##### 食材

- 主原料の農作物は県内の農家から直接調達している。小麦粉やバターはほとんど県外からの調達。調味料は県内も県外もある。

##### その他

- 段ボール・紙製品、プラスチック製品はほぼ県外から調達。
- パッケージデザインや広告宣伝は県内の事業者にお願いしている。
- お菓子を製造する機械は県外から購入している。機械の費用は大きく、県内から調達できれば大きな経済効果につながる。機械のメンテナンスは簡単なものは県内業者でも担えるが、専門的なものは県外に発注している。しかし専門的なものでも、県内業者でできる可能性はある。

#### < ご意見 >

- 主原料の農作物を県内から調達する理由は、県内の素材を使って提供することにこだわっているため。会社の戦略としてそのように消費者へアピールしており、パッケージにも県産の原料であることをしっかり載せている。
- 主原料の農作物は、病気が広がったことが主な原因で県内からの調達が困難になっている。病気により、農家の方は安心して作付けができない状況。行政で連携して対処してほしい。

## (4) 小売業（土産品店）

調査対象者

① 業界団体

※ 抜粋

### < 調達・販売について >

#### 菓子類

- 日本人観光客の多くは、ばらまき用のお土産としては「沖縄らしさ」がわかるエッセンス（食材など）が入っていることを求める。
- ただし修学旅行生向けのお店などは、安さを売りにしていることもあり、県内産にそこまでこだわりはない。
- 一方、大人の方や旅慣れている方などで、お土産を個別に渡すために購入される方は、県内産にこだわる。
- インバウンド客は沖縄よりも日本のお土産、もしくは韓国も含めた東アジアのお土産を求めている。

#### 工芸品

- 工芸品は、沖縄に来てから一目ぼれして購入されることもある。しかし一流品を置いている店は少ない。

#### その他

- 観光客のSDGsに関する意識は、Z世代に限らず全体的に広がっていると感じる。しかし、購買行動にまでにはつながっていない。例えば、食べ物であれば「おいしさ」など、ほかに求めるポイントがあり、その何番目かにSDGsがあるように見える。
- 売り方が上手な店舗としては、直営店が多い印象を持っている。

## (4) 小売業（土産品店）

調査対象者

② 土産品店

※ 抜粋

### < 調達・販売について >

- 売上に占める品目の割合は菓子類が大きく3割弱程度。特に乾きもののお菓子が多い。
- 次に常温の加工食品も多く2割程度を占める。
- 泡盛は近年減っている状況で1割程度。
- やちむんや琉球ガラス、伝統染織物などは少なく、それぞれ1%にも満たない。

### < ご意見 >

- 健康食品は今後も可能性がある。小売りにとっては粗利が大きく利益率が高い。メーカーにとっても付加価値が大きい。健康食品はリピートされる傾向にあるので、メディアなどでPRされると何か月も売れ続ける。長寿県として推してほしい。
- 沖縄の原料が健康食品になったが、県外大手の商品が爆発的に売れたため、原料が海外産になった事例がある。コストでは海外産に勝てない。
- 全国放送のテレビ番組で県産品が紹介されると、翌日には売り上げが大きく上昇する。メディアの波及効果はすごいものがある。

## (5) 泡盛製造業

### 調査対象者

### ① 業界団体

※ 抜粋

#### <調達について>

- 原材料の米は、主に政府が輸入しているタイ産米が使用されている。一部、沖縄県産米を使用した商品を製造している業者もある。
- ビンやキャップは、主に県外の企業から直接仕入れたものが使用されている。県内には供給できる業者がないため。
- ラベルの印刷などは、県内の業者を使用しているところが多い。

#### <販売について>

- 販路は酒造所により異なるが、問屋経由が大半で直接販売は一部。販売先は数量ベースで県内が8割、県外が2割程度。海外は1%程度。観光客による購入は県内に含まれている。
- 観光客の土産品としては値段の高い古酒が良く売れている。土産品店で説明を聞いて選ぶことが多い。外国人は、中国の方は比較的高い金額のものを購入するようだが、そもそも泡盛よりも有名ブランドの梅酒やウイスキーのほうを好む。
- 古酒は各社10年ものものを多く持っている。50年ものを55万円で販売した酒造所もある。しかし有名ブランドの25年ものウイスキーが300万円なので、それと比べるとまだまだ安いと感じる。
- プライベートジェットで沖縄を訪れた海外の富裕層が泡盛を気に入り、ホテル経由で酒造所に一番高い酒を求めたが、数万円のものしか出せなかったと聞く。
- 海外の方にも泡盛の魅力を知っていただきたい。樽で熟成するウイスキーとは異なり、瓶のままでも熟成する古酒の魅力をしっかり伝えていければと思う。

#### <観光客への対応について>

- これまで各酒造所では、購買を期待して無料で見学を受け入れていたが、今後は有料で、しっかり解説をすることで付加価値をつけて、ファンやリピーターをつくりたい。
- 酒造所見学には外国人もおり、台湾や香港などアジア系が多い。コロナ前までは欧米系もいた。
- 酒造所周辺の観光資源と組み合わせて、ホテルを起点としたツアーを企画する取組も進めている。プロ野球キャンプにあわせた酒造所のツアーも実施しているが、球場と酒造所の距離は必ずしも近いわけではなく、参加者は酒蔵所でお酒を飲むので、足の確保に苦労している。また、少人数の酒造所は見学などには対応できない。
- 酒造所によっては古酒になるまで瓶を預かってもらうサービスがある。鍾乳洞で保管する酒造所もある。利用者の比率は県民と観光客で半々ぐらい。観光客は見学で訪れたときに、ついでに利用することが多い。

## 調査対象者

### ① 業界関係団体

※ 抜粋

#### <費用の構成>

- 費用の項目としては、土と釉薬、ガス・灯油・電気・薪などの燃料・光熱費が大きい。

#### <調達について>

- 土はブレンドして使う場合が多く、県内産100%となるケースは少ない。一番使われているのは組合が製造している土だと思いが、3~5割は県外産である。窯元や職人によって、100%県外の土を使う人もいるし、原料にこだわっている人は沖縄県産の土を優先的に採用する人もいる。
- 釉薬は、多くは市販のものが使用されている。安ければ流通しているものを県外から買うと思われる。
- 原材料について、県内の土地開発が進んで土が確保しにくくなっている。このままでは、やちむんが地元のものだとアピールしたくても、根拠が弱くなってしまうのではないか。

#### <販売について>

- 土産品店の小さくて安価な焼物も「やちむん」として売られているが、県外産や海外産も混じっていると思われる。土産品店の奥のほうに本物の焼物を置いていることもあるが、観光客からすると高くて手が出ない。
- 小売店がやちむんの魅力をしっかり説明してくれればいいが、仕入れて並べているだけなので、作り手が本来伝えたいことが伝わらない。良いものを置いても、値段が高いという印象だけで終わってしまう。
- 職人は陶芸が好きなので、生活できる程度に稼ぐことができればいいという人が多く、観光客にどう売るかを考えている作り手はほとんどいないのではないか。また、商品開発やブランディングに関する知識を持っている人材が少ない。

#### <体験について>

- 焼物は焼く工程があり、体験の場で完成まで至らないため、修学旅行等の教育旅行では取り入れにくい。また、教材屋が作っている陶芸体験キットを安い値段で簡単に入手できることがあり、工房での体験需要はあまりない。

#### <観光客への対応について>

- 観光客との接点を増やす方策として、飲食店やホテルのレストランでやちむんを使用してもらうことが考えられる。
- 富裕層対応はあまりできていない。外国人の方で100万円の商品を買いたいというニーズもたまにあるようだが、そのような価格帯のものを作っていないので対応できない。ただしシーサーなど造形ものは高価格帯のものもある。

#### <その他>

- 業界では、需要はあっても値段を倍にするというのは違うという意見が多い。業界の相場があるので、それに従って値付けしている。価格を上げて利益を増やそうという考え方をする業界ではないと感じる。
- 広く普段使いしてもらいたいというのが業界の総意ではないか。

## (6) 陶器製造業

### 調査対象者

### ② 陶器製造事業者

※ 抜粋

#### <費用の構成>

- 原材料はほぼ土で（費用総額に占める割合は）約20%、着色料5%、燃料費15%、広告宣伝費3%程度。人件費が最も大きく7割程度を占める。陶器製造は土づくりや成形といった工程で人手がかかるので人件費が大きい。

#### <調達について>

##### 原材料等

- 土などの原材料は県内が約7割、県外（国内）が約3割。県内からのものは組合の共同購買によるもの。
- 沖縄の土は基本的に赤土なので、白土は県外からとなる。一方、赤土の品質は県外が優位なこともあり、質のいい土を直接購入することもある。
- 県内の土を使う理由は品質が良いからではなく、昔から伝統的に使っているからという理由が大きい。
- 着色料は海外でしか取れない物質もあり、ほぼ県外から調達している。
- 県外から仕入れているものは、県内から仕入れられないことが理由。県内調達に置き換えられるものはあまりない。

##### その他

- 燃料は100%県内から購入している。
- 段ボールや緩衝材等の資材は県内企業から仕入れている。
- 広告宣伝費は県内企業から。以前は県外企業を使っていたこともある。

#### <販売について>

- 商品については、特に観光客向けを意識しているわけではない。全国的にやちむんの需要があるので、観光客というよりも県外需要に対応している。
- 高付加価値という視点では、工場見学などの体験を通じて製造面でのこだわりを伝えることで、価値を感じてもらえるようにしている。

## 調査対象者

### ① 琉球ガラス製造業者

※ 抜粋

#### <費用の構成>

- 人件費が一番大きく、製造原価の6割を占める。
- 原材料はガラスの素材となる珪砂、ソーダ灰、石灰で製造原価の2%程度、着色料は1%程度。

#### <調達について>

- 原材料と着色料は100%県外から仕入れている。原材料の珪砂は沖縄で採掘していない。着色料も海外で生産している。
- 県内からの調達率を高めるとい点では、リサイクルガラスがそれに当たる。戦後の琉球ガラスは米軍が使用したコーラ瓶などをリサイクルして制作していた。昨今は市内で廃棄される車の窓ガラスを原料として購入して、溶かして製品にすることもしている。現在太陽光パネルの廃棄が問題になっているので、太陽光パネルのガラスの再生を考えている。廃ガラスは熱効率が良い。従来は廃棄業者が費用をかけて県外に廃棄していたもので、廃棄費用の削減にもなる。
- 本島内に30以上のガラス工房があるが、再生ガラスのみで製造しているところが10~15程度ある。

#### <販売について>

- 販路は直販が4~5割、小売店への卸が5~6割程度。
- 付加価値の高いものは、県外企業が応接室に飾る、新社屋の落成、ホテル開業などで購入されることが多い。県が認定する工芸士や厚労省の現代の名工に認定された職人の作品が、高価格帯の商品となる。
- 再生ガラスの商品は、最近マスメディアにも取り上げられており、多少値段が高くても環境保全に寄与できるということで消費者にも注目されている。

#### <体験について>

- アメリカではスタジオガラスといい、職人がガラスをつくる過程をパフォーマンス化し、エンタテインメントとして売っているモデルがある。また、ガラス作品を見せる有料施設も検討している。こうした、入場料を払って見せるビジネスモデルに変えていくことが必要。体験は危険なので付きっきりになるが、ショーであれば一人対大勢でできる。
- 1週間通いや泊まり込みで、スクールのようにガラスづくりを教えていくような体験も必要だと考えている。
- 生産への対応で手一杯となっており、体験に時間を割けない事業者もいる。体験を受け入れたら生産ができない、生産をしていると営業活動ができないなどのジレンマを抱えているのではないかと。
- 客層は観光客が8~9割を占める。インバウンドは5%程度。レンタカーを使えない外国人観光客はアクセスの点で課題。
- 修学旅行生もいるが、業界全体として修学旅行生は単価が見合わなくなってきている。
- 燃料や人件費の高騰などから、体験料金を値上げしたが、説明を充実させるなどで満足度を上げるようにしている。
- 県内産は、海外産と比べて高価なイメージがあるが、その価値をストーリーとして伝えることが大事。

#### <その他>

- 県産品との共同開発商品、他の工芸品を組み合わせた商品がある。



## (8) 伝統染織物製造業

調査対象者

① 業界団体（織物）

※ 抜粋

### <費用の構成>

- 当団体では、糸等の原材料は約1割、化学染料などその他の仕入・材料費は1%程度。
- 外注加工費（織賃の仕事、縫製加工）が大きく、2割程度を占める。

### <調達について>

- 原材料で割合が大きいのは糸。絹糸を扱っている業者が県内にないため、群馬県の国産絹糸を使用している。糸以外にも化学染料や助剤も県外から仕入れている。
- 織った布でのかりゆしウェアの仕立ては、県内の縫製業者に外注している。一方、名刺入れや財布などの小物加工は、県外の業者に外注している。大量発注はできるが全国共通の規格なので、オリジナルは、県内の業者に発注している。しかし、縫製業者不足、技術面の課題はある。
- ネクタイに関しても県外に頼んでいる状況。県内に業者があれば商品の幅も広げられる。

### <販売について>

- 販売先の割合は、県外の間屋さんが最も大きく8割程度、小物やかりゆしは2割程度。
- 帯や着尺の主な取引先は県外で、関西や関東の間屋に出荷をしている。その先の最終消費者については、問屋経由なので把握できない部分もある。
- 着物好きの方が直接沖縄に来て購入されることもある。
- 外国人観光客に対してのPRがあまりできていない。丁寧に説明すれば理解してくれるのではないかな。

### <体験について>

- 施設では織物体験をすることができる。
- 県外から来る方はHPで調べて、電話予約を入れて来る。
- ただし機織り機1台に職人がつきっきりになるので、受入人数を大きく増やす事ができない。
- 昨年度の体験は380件程度。月平均で32件、2-3月が多く、月に50件以上あった。

## (8) 伝統染織物製造業

### 調査対象者

### ② 業界団体（染物）

※ 抜粋

#### <費用の構成>

- 人件費を含まない費用を100%とした場合、当団体では、原材料となる布が約5割、染料1割、その他仕入材料1割、染色整理加工1割、広告・宣伝費1割程度となっている。

#### <調達について>

- 主な材料はほぼ県外から仕入れている。原材料の布は、着物の反物や帯を京都の間屋から仕入れている。
- 型紙や彫る道具や染料素材も、伊勢や京都などから仕入れている。自然素材から染料をつくることはあまりない。これらの多くは昔から異国から入ってきていたものだった。
- タペストリーなどにする場合の仕上げは外注しており、県内業者が約8割、県外業者が約2割。
- 素材の調達が困難になっている。海外産の布もあったが、生産をやめてしまったと聞いている。輸入品の布は品質面でやや劣るが、そうした布でさえ調達が難しくなっている。
- 型紙も間屋が閉まってしまい調達できなくなっている状況。
- 県内からの調達を増やせる商品はない。白生地は県内でも織っているが、我々に供給できるほどの余裕もないし、コストも高い。

#### <販売について>

- 反物や帯は、間屋を通してしている。人気がある職人の方は直接販売している。

#### <体験について>

- 当施設では染物体験をすることができる。1日に30～40名を受け入れることが可能。
- 外国人観光客が来ることもある。しかし海外から来る方はSNSで自分から見つけてくる方が多い。それ以外のPRの仕方がわからない。
- 体験を通じて染物に触れることが重要。例えば空港などで、観光客が時間に余裕のあるときに触れる機会があれば。

#### <ご意見>

- 間屋に卸すのが精いっぱい、売ることまでは手が回っていない状況もある。
- 観光客に売っていくために必要なことは認知度の向上。空港など観光客の多いところに、看板でも展示でもいいので、触れる機会があるといいのではないかと。ただし、作品を飾っているだけで何の解説もなければ通り過ぎてしまう。魅力が伝わる工夫が必要。
- 高価格帯の商品については、富裕層の方から直接注文を受けられるようになると良い。業界としては対応できる。

## 3. 參考資料

## ① 宿泊業

### 仕入・外注に関する調査 ＜宿泊事業者＞

この調査は、観光による県内経済の循環促進策を検討するため、仕入・外注の状況や県内調達に関する実態を把握するものです。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



PC/スマートフォンからも  
回答いただけます。QRコード  
からアクセスください。

回答期限 令和5年10月27日(金)  
沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課(調査主体)  
公益財団法人日本交通公社(調査実施)

問1 経営組織を選択してください。

1. 株式会社(県内資本が過半数)      2. 株式会社(県外資本が過半数)  
3. 個人経営                                      4. その他( )

問2 宿泊事業について2022年(1年間又は1年度)の売上(収入)金額を選択してください。

1. 500万円未満                                      2. 500万円～1,000万円未満  
3. 1,000万円～3,000万円未満              4. 3,000万円～1億円未満  
5. 1億円～5億円未満                              6. 5億円～15億円未満  
7. 15億円～25億円未満                              8. 25億円以上

問3 宿泊施設について、2022年(1年間又は1年度)の平均客室単価を  
記入してください。  
※正確な数値の把握が困難な場合は、  
概算値で構いません。

円/室

問4 宿泊事業について、2022年(1年間又は1年度)の「費用総額(売上原価+販売費及び一般管理費)」のうち、各費用項目の占める「割合」をそれぞれの欄に記入してください(①)。また、それらについて、仕入・材料費は生産・製造した業者の地域別割合(生産地)、外注費や販売手数料は支払業者の地域別割合を、合計が100となるように割合で記入してください(②)。卸売業者経由の場合は、県内卸売業者の割合も記入してください(③)。  
※正確な数値の把握が困難な場合は、概算値で構いません。

項目	費用総額に占める割合(①)	生産・製造した業者/支払業者(②)			②計	県内卸売業者の割合(③)
		沖縄県内	沖縄県外(国内)	海外(輸入)		
仕入・材料費	生鮮品(農産物)	%	%	%	100%	%
	生鮮品(畜産物)	%	%	%	100%	%
	生鮮品(水産物)	%	%	%	100%	%
	加工食品	%	%	%	100%	%
	調味料	%	%	%	100%	%
	飲料(酒類以外)	%	%	%	100%	%
	酒類	%	%	%	100%	%
	客室消耗品(アメニティ)	%	%	%	100%	%
	その他仕入・材料費	%	-	-	100%	-
	外注費	%	%	%	%	100%
清掃・洗濯サービス(リネン)	%	%	%	%	100%	
その他外注費	%	%	%	%	100%	
販売手数料(旅行会社等)	%	%	%	%	100%	
人件費	%					
その他	%					
①計	100%					

問5 (1) 問4で記入した「生鮮品、加工食品、調味料、飲料、酒類」などの食料品のうち、詳細な品目を費用の大きな順に5つまで選び、具体例を記入してください。品目は下欄の品目例から選択してください。それらについて生産・製造した業者の地域別割合(生産地)を合計が100となるように割合で記入してください(2022年(1年間又は1年度)の数値)。  
※正確な数値の把握が困難な場合は、概算値で構いません。

(2) 各品目について、県内から調達する理由と県外から調達する理由を下記の理由一覧からそれぞれ選択してください。(いくつでも)

品目例:  
米、麦、豆類、きのこ類、小麦粉、野菜、果実、肉、卵、生花、ジャム、ハム・ソーセージ、乳製品、その他農産加工品、干物、練り製品、その他水産加工品、調味料、コーヒー、お茶、めん、パン、菓子類、弁当、その他調理済み食品、酒・アルコール類、清涼飲料、ミネラルウォーター、水、たばこ、その他

品目	具体例	生産・製造した業者の地域別割合			県内から調達する理由	県外から調達する理由
		沖縄県内	沖縄県外(国内)	海外(輸入)		
例:野菜	例:ニンジン	50%	20%	30%	100%	4,6,7
		%	%	%	100%	
		%	%	%	100%	
		%	%	%	100%	
		%	%	%	100%	

- 県内から調達する理由
1. 県内の方が品質が良いから
  2. 県内の方が価格が安いから
  3. 県内の方が納期が早いから
  4. 県内の方が品揃えが良いから
  5. 県内から必要な量を調達できるから
  6. 県内に調達先があるから
  7. 県内の調達先を知っているから
  8. 県内事業者との取引関係があるから
  9. 流通業者(商社、問屋、代理店等)に頼むと結果的にそうなる
  10. 県内産に顧客ニーズがあるから
  11. 県内産や特産品を提供したいため
  12. その他

- 県外から調達する理由
1. 県外の方が品質が良いから
  2. 県外の方が価格が安いから
  3. 県外の方が納期が早いから
  4. 県外の方が品揃えが良いから
  5. 県内で必要な量を調達できないから
  6. 県内に調達先がないから
  7. 県内の調達先を知らないから
  8. 県外事業者との取引関係があるから
  9. 流通業者(商社、問屋、代理店等)に頼むと結果的にそうなる
  10. 県外産に顧客ニーズがあるから
  11. その他

問6 仕入・外注について、県内からの調達を増やせる可能性のある商品・サービスがありましたらご記入ください。また、県内からの調達を増やすために工夫していることや、必要な行政の施策等がありましたらご記入ください。(自由回答)

ご協力ありがとうございました。

# アンケート調査票

## ② 飲食店

### 仕入・外注に関する調査 ＜飲食事業者＞

この調査は、観光による県内経済の循環促進策を検討するため、仕入・外注の状況や県内調達に関する実態を把握するものです。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



PC/スマートフォンからも  
回答いただけます。QRコード  
からアクセスください。

回答期限 令和5年10月27日(金)  
沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課(調査主体)  
公益財団法人日本交通公社(調査実施)

問1 経営組織を選択してください。

1. 株式会社(県内資本が過半数)      2. 株式会社(県外資本が過半数)  
3. 個人経営                                      4. その他( )

問2 飲食事業について2022年(1年間又は1年度)の売上(収入)金額を選択してください。

1. 500万円未満                                      2. 500万円~1,000万円未満  
3. 1,000万円~3,000万円未満                      4. 3,000万円~1億円未満  
5. 1億円~5億円未満                                      6. 5億円以上

問3 飲食業について、2022年(1年間又は1年度)の売上(収入)金額  
に占める観光客向けの割合(観光割合)を記入してください。 %

※正確な数値の把握が困難な場合は、  
日常的な感覚等で構いません。

問4 飲食事業について、2022年(1年間又は1年度)の「費用総額(売上原価+販売費及び一般管理費)」のうち、各費用項目の占める「割合」をそれぞれの欄に記入してください(①)。また、それらについて、仕入・材料費は生産・製造した業者の地域別割合(生産地)、外注費や販売手数料は支払先業者の地域別割合を、合計が100となるように割合で記入してください(②)。卸売業者経由の場合は、県内卸売業者の割合も記入してください(③)。

※正確な数値の把握が困難な場合は、概算値で構いません。

項目	費用総額に占める割合(①)	生産・製造した業者/支払先業者(②)			②計	県内卸売業者の割合(③)
		沖縄県内	沖縄県外(国内)	海外(輸入)		
仕入・材料費	生鮮品(農産物)	%	%	%	100%	%
	生鮮品(畜産物)	%	%	%	100%	%
	生鮮品(水産物)	%	%	%	100%	%
	加工食品	%	%	%	100%	%
	調味料	%	%	%	100%	%
	飲料(酒類以外)	%	%	%	100%	%
	酒類	%	%	%	100%	%
	その他仕入・材料費	%	-	-	-	-
外注費( )	%	%	%	%	100%	
人件費	%					
その他	%					
①計	100%					

問5 (1) 問4で記入した「生鮮品、加工食品、調味料、酒類、飲料」などの食料品のうち、詳細な品目を費用の大きな順に5つまで選び、具体例を記入してください。品目は下欄の品目例から選択して記入してください。それらを生産・製造した業者の地域別割合(生産地)を合計が100となるように割合で記入してください(2022年(1年間又は1年度)の数値)。  
※正確な数値の把握が困難な場合は、概算値で構いません。

(2) 各品目について、県内から調達する理由と県外から調達する理由を下記の理由一覧からそれぞれ選択してください。(いくつでも)

品目例:  
米、麦、豆類、きのこ類、小麦粉、野菜、果実、肉、卵、生花、ジャム、ハム・ソーセージ、乳製品、その他農産加工品、干物、練り製品、その他水産加工品、調味料、コーヒー、お茶、めん、パン、菓子類、弁当、その他調理済み食品、酒・アルコール類、清涼飲料、ミネラルウォーター、氷、たばこ、その他

品目	具体例	生産・製造した業者の地域別割合				県内から調達する理由	県外から調達する理由
		沖縄県内	沖縄県外(国内)	海外	ヨコ計		
例:肉	例:牛肉	50%	20%	30%	100%	4,6,7	2,4,5,9
		%	%	%	100%		
		%	%	%	100%		
		%	%	%	100%		
		%	%	%	100%		
		%	%	%	100%		

- 県内から調達する理由
1. 県内の方が品質が良いから
  2. 県内の方が価格が安いから
  3. 県内の方が納期が早いから
  4. 県内の方が品揃えが良いから
  5. 県内から必要な量を調達できるから
  6. 県内に調達先があるから
  7. 県内の調達先を知っているから
  8. 県内事業者との取引関係があるから
  9. 流通業者(商社、問屋、代理店等)に頼むと結果的にそうなる
  10. 県内産に顧客ニーズがあるから
  11. 県内産や特産品を提供したいため
  12. その他( )

- 県外から調達する理由
1. 県外の方が品質が良いから
  2. 県外の方が価格が安いから
  3. 県外の方が納期が早いから
  4. 県外の方が品揃えが良いから
  5. 県内で必要な量を調達できないから
  6. 県内に調達先がないから
  7. 県内の調達先を知らないから
  8. 県外事業者との取引関係があるから
  9. 流通業者(商社、問屋、代理店等)に頼むと結果的にそうなる
  10. 県外産に顧客ニーズがあるから
  11. その他( )

問6 仕入・外注について、県内からの調達を増やせる可能性のある商品・サービスがありましたらご記入ください。また、県内からの調達を増やすために工夫していることや、必要な行政の施策等がありましたらご記入ください。(自由回答)

ご協力ありがとうございました。

## ③ 菓子製造業

### 仕入・外注に関する調査 ＜菓子製造事業者＞

この調査は、観光による県内経済の循環促進策を検討するため、仕入・外注の状況や県内調達に関する実態を把握するものです。ご協力のほどよろしく申し上げます。



PC/スマートフォンからも  
回答いただけます。QRコード  
からアクセスください。

回答期限 令和5年10月27日(金)  
沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課(調査主体)  
公益財団法人日本交通公社(調査実施)

問1 経営組織を選択してください。

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1. 株式会社(県内資本が過半数) | 2. 株式会社(県外資本が過半数) |
| 3. 個人経営           | 4. その他( )         |

問2 菓子製造事業について2022年(1年間又は1年度)の売上(収入)金額を選択してください。

- |                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| 1. 500万円未満           | 2. 500万円~1,000万円未満 |
| 3. 1,000万円~3,000万円未満 | 4. 3,000万円~1億円未満   |
| 5. 1億円~5億円未満         | 6. 5億円~15億円未満      |
| 7. 15億円~25億円未満       | 8. 25億円以上          |

問3 菓子製造事業について、2022年(1年間又は1年度)の売上(収入)金額に占める観光客向け商品の割合(観光割合)を記入してください。 ※正確な数値の把握が困難な場合は、日常的な感覚等で構いません。

\_\_\_\_\_ %

問4 菓子製造事業について、2022年(1年間又は1年度)の「費用総額(売上原価+販売費及び一般管理費)」のうち、各費用項目の占める「割合」をそれぞれの欄に記入してください(①)。また、それらについて、仕入・材料費は生産・製造した業者の地域別割合(生産地)、外注費や販売手数料は支払先業者の地域別割合を、合計が100となるように割合で記入してください(②)。卸売業者経由の場合は、県内卸売業者の割合も記入してください(③)。

※正確な数値の把握が困難な場合は、概算値で構いません。  
※全ての商品について記載することが困難な場合は、複数の主力商品についてご記入ください。

項目	費用総額に占める割合(①)	生産・製造した業者/支払先業者(②)				県内卸売業者の割合(③)
		沖縄県内	沖縄県外(国内)	海外(輸入)	②計	
仕入・材料費	原材料(農産物)	%	%	%	100%	%
	原材料(畜産物)	%	%	%	100%	%
	原材料(水産物)	%	%	%	100%	%
	原材料(加工食品・調味料)	%	%	%	100%	%
	段ボール・紙製品	%	%	%	100%	%
	プラスチック製品	%	%	%	100%	%
その他仕入・材料費	%	-	-	-	-	-
修繕費(メンテナンス費用等含む)	%	%	%	%	100%	%
広告・宣伝費(デザイン費用等含む)	%	%	%	%	100%	%
その他外注費	%	%	%	%	100%	%
人件費	%	-	-	-	-	-
その他	%	-	-	-	-	-
①計	100%					

問5 (1) 問4で記入した「農・畜・水産物、加工食品、調味料」などの原材料のうち、詳細な品目を費用の大きな順に5つまで選び、具体例を記入してください。品目は下欄の品目例から選択してください。また、それらについて生産・製造した業者の地域別割合(生産地)を合計が100となるように割合で記入してください(2022年(1年間又は1年度)の数値)。

※全ての商品について記載することが困難な場合は、複数の主力商品についてご記入ください。  
※正確な数値の把握が困難な場合は、概算値で構いません。

(2) 各品目について、県内から調達する理由と県外から調達する理由を下記の理由一覧からそれぞれ選択してください。(いくつでも)

品目例:

米、麦、豆類、きのこ類、小麦粉、野菜、果実、肉、卵、生花、ジャム、ハム・ソーセージ、乳製品、その他農産加工品、干物、練り製品、その他水産加工品、調味料、コーヒー、お茶、めん、パン、菓子類、その他調理済み食品、酒・アルコール類、清涼飲料、ミネラルウォーター、氷、その他

品目	具体例	生産・製造した業者の地域別割合				県内から調達する理由	県外から調達する理由
		沖縄県内	沖縄県外(国内)	海外	ヨコ計		
例:小麦粉	例:中力粉	50%	20%	30%	100%	4,6,7	2,4,5,9
		%	%	%	100%		
		%	%	%	100%		
		%	%	%	100%		
		%	%	%	100%		
		%	%	%	100%		

- #### 県内から調達する理由
1. 県内の方が品質が良いから
  2. 県内の方が価格が安いから
  3. 県内の方が納期が早いから
  4. 県内の方が品揃えが良いから
  5. 県内から必要な量を調達できるから
  6. 県内に調達先があるから
  7. 県内の調達先を知っているから
  8. 県内事業者との取引関係があるから
  9. 流通業者(商社、問屋、代理店等)に頼むと結果的にそうなる
  10. 県内産に顧客ニーズがあるから
  11. 県内産や特産品を提供したいため
  12. その他( )

- #### 県外から調達する理由
1. 県外の方が品質が良いから
  2. 県外の方が価格が安いから
  3. 県外の方が納期が早いから
  4. 県外の方が品揃えが良いから
  5. 県内で必要な量を調達できないから
  6. 県内に調達先がないから
  7. 県内の調達先を知らないから
  8. 県外事業者との取引関係があるから
  9. 流通業者(商社、問屋、代理店等)に頼むと結果的にそうなる
  10. 県外産に顧客ニーズがあるから
  11. その他( )

問6 仕入・外注について、県内からの調達を増やせる可能性のある商品・サービスがありましたらご記入ください。また、県内からの調達を増やすために工夫していることや、必要な行政の施策等がありましたらご記入ください。(自由回答)

ご協力ありがとうございました。

# アンケート調査票

## ④ 小売業

### 商品に関する調査 ＜小売事業者＞

この調査は、観光による県内経済の循環促進策を検討するため、商品の状況や県内調達に関する実態を把握するものです。ご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。



PC/スマートフォンからも  
回答いただけます。QR コード  
からアクセスください。

回答期限 令和5年10月27日(金)  
沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課(調査主体)  
公益財団法人日本交通公社(調査実施)

問1 経営組織を選択してください。

1. 株式会社(県内資本が過半数)      2. 株式会社(県外資本が過半数)  
3. 個人経営                                      4. その他( )

問2 小売事業について2022年(1年間又は1年度)の売上(収入)金額を選択してください。

1. 500万円未満                                  2. 500万円~1,000万円未満  
3. 1,000万円~3,000万円未満              4. 3,000万円~1億円未満  
5. 1億円~5億円未満                          6. 5億円~15億円未満  
7. 15億円~25億円未満                      8. 25億円以上

問3 小売事業について、2022年(1年間又は1年度)の売上(収入)金額に占める観光客向け商品の割合(観光割合)を記入してください。 %

※正確な数値の把握が困難な場合は、日常的な感覚等で構いません。

問4 小売事業について、2022年(1年間又は1年度)の「売上」のうち、各商品の占める「割合」をそれぞれの欄に記入してください(①)。また、それらについて、製造者もしくは販売者の地域別割合を、合計が100となるように割合で記入してください(②)。卸売業者を通じて仕入れている場合は、県内卸売業者の割合も記入してください(③)。

※正確な数値の把握が困難な場合は、概算値で構いません。

項目	売上に占める割合(①)	製造者もしくは販売者の地域別割合(②)				県内卸売業者の割合(③)
		沖縄県内	沖縄県外(国内)	海外(輸入)	(②)計	
菓子類	%	%	%	%	100%	%
飲料	%	%	%	%	100%	%
酒類(泡盛以外)	%	%	%	%	100%	%
泡盛	%	-	-	-	-	-
生鮮品(野菜、果物、鮮魚、肉)	%	%	%	%	100%	%
加工食品(健康食品除く)	%	%	%	%	100%	%
健康食品	%	%	%	%	100%	%
調味料	%	%	%	%	100%	%
陶器(やちもん)	%	-	-	-	-	-
琉球ガラス	%	-	-	-	-	-
沖縄の伝統織物	%	-	-	-	-	-
その他工芸品	%	%	%	%	100%	%
雑貨	%	%	%	%	100%	%
その他( )	%	%	%	%	100%	%
①計	100%					

問5 (1) 問4で記入した商品のうち、詳細な品目を売上の大きな順に5つまで選び、具体例を記入してください。品目は下欄の品目例から選択してください。また、それらについて製造者もしくは販売者の地域別割合(生産地)を合計が100となるように割合で記入してください(2022年(1年間又は1年度)の数値)。

※正確な数値の把握が困難な場合は、概算値で構いません。

(2) 各品目について、県内から調達する理由と県外から調達する理由を下記の理由一覧からそれぞれ選択してください。(いくつでも)

品目例:  
黒糖、飴・梅、焼菓子、油菓子、珍味、半生菓子、甘味菓子、水菓子、豆・ゴマ菓子、健康食品、飲料、酒類、生鮮果物、生鮮海鮮類、レトルト・即席食品、麺類、畜産・農産加工品(冷蔵・冷凍)、調味料、雑貨、その他

品目	具体例	製造者もしくは販売者の地域別割合				県内から調達する理由	県外から調達する理由
		沖縄県内	沖縄県外(国内)	海外(輸入)	ヨコ計		
例: 焼菓子	例: ちんすこう	60%	20%	20%	100%	4,6,7	2,4,5,9
		%	%	%	100%		
		%	%	%	100%		
		%	%	%	100%		
		%	%	%	100%		

- 県内から調達する理由
1. 県内の方が品質が良いから
  2. 県内の方が価格が安いから
  3. 県内の方が納期が早いから
  4. 県内の方が品揃えが良いから
  5. 県内から必要な量を調達できるから
  6. 県内に調達先があるから
  7. 県内の調達先を知っているから
  8. 県内事業者との取引関係があるから
  9. 流通業者(商社、問屋、代理店等)に頼むと結果的にそうなる
  10. 県内産に顧客ニーズがあるから
  11. 県内産や特産品を提供したいため
  12. その他( )

- 県外から調達する理由
1. 県外の方が品質が良いから
  2. 県外の方が価格が安いから
  3. 県外の方が納期が早いから
  4. 県外の方が品揃えが良いから
  5. 県外に必要な量を調達できないから
  6. 県内に調達先がないから
  7. 県内の調達先を知らないから
  8. 県外事業者との取引関係があるから
  9. 流通業者(商社、問屋、代理店等)に頼むと結果的にそうなる
  10. 県外産に顧客ニーズがあるから
  11. その他( )

問6 商品について、県内からの調達を増やせる可能性のあるものがありましたらご記入ください。また、県内からの調達を増やすために工夫していることや、必要な行政の施策等がありましたらご記入ください。(自由回答)

ご協力ありがとうございました。